

一〇 福州ニ於テ日中兩國人衝突一件 六六五 六六六

ニ対スル態度ニ一大變化ヲ来シタルモノナリ然ルニ日本公使提出公文ニ依ル時ハ其態度何等從來ト異ルナシト云ヒ一般輿論ノ喚起ヲ煽動スルガ如キ筆鋒ヲ弄セリ(十一月下旬工藤敏次郎属調)

六六五 十一月十八日

在福州林總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

福州事件解決ニ対シ一般ニ満足シ居ル模様ナル旨報告ノ件

第七〇号

福州事件解決ノ報ハ十四日以後ノ当地各新聞ニ掲載セラレ其条件等モ大体発表セラレタルガ今尚之ニ何等論評ヲ加ヘタルモノ無ク学生間ニモ別段ノ不平ナキガ如ク一般ニ本件

七七六

ノ解決ニ対シ消極的ニ満足ノ意ヲ表シ居ルモノト解セラル台湾總督在支公使ヘ転電セリ

六六六 十二月八日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

福州事件慰藉金外交總長ヘ送付済ノ件

第三〇二号

福州事件慰藉金銀二千百元半公信ヲ添ヘ十二月八日外交總長ヘ送附ヲ了セリ

福州ヘ転電セリ

事項一一 中国ノ日貨排斥運動ニ関スル件

六六七 一月五日

在九江河西領事ヨリ
内田外務大臣宛

南昌商學聯合會學生團日貨掠奪燒棄、九江警察庁本邦籍民居宅侵入及九江學生團邦貨掠奪ニ関シ具報ノ件

機密往信第一号

(一月二十二日接受)

大正九年一月五日

在九江

領事 河西 信(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

客年十二月中旬邦商仁德洋行ノ貨物カ学生團ノ為ニ掠奪ニ遭ヒタル事件ニ関シ本官ト在当地傳道尹トノ交渉ニ依リ円満ナル解決ヲ告ケタル儀ハ客年十二月十九日附機密往信第三〇号ヲ以テ及報告置候処其後当地地方官憲ハ学生團ノ取締ニ関シ頗ル尽力スル所アリタル模様ニテ之カ為ニ学生團ノ行動一時ニ静穩ニ傾キ白昼隊伍ヲ組ミテ市中ヲ横行スル集團ノ影ヲ没スルニ至リタルカ昨年十二月下旬頃ヨリ復々

一一 中国ノ日貨排斥運動ニ関スル件 六六七

形勢ニ惡化ヲ来タシ殊ニ南昌學生ノ活動頗ル激烈横暴ニ傾

キツツアリシカ俄然本年一月元旦邦貨掠奪事件ノ發生ヲ見ルニ至レリ即チ邦商仁德洋行カ南昌ニ於テ商取引ヲ為ス目的ニテ乾電池參相合計九拾式打ヲ去ル一月元旦南潯鐵路公司ニ托送シ南昌ニ於テ受取ラシムル為同日店員徐耀奎ナル者ヲ派シタリ同人ハ翌朝該貨物受取ノ為ニ鐵路公司ニ出頭セシニ該貨物ハ到着ノ夕刻南昌商學聯合會學生團所屬ノ多数學生カ南昌停車場駅長ニ強要シテ全部之ヲ掠奪シ去レリトノ事ニテ同人ハ如何トスル事能ハス四日歸潯セリ
本件ニ付仁德洋行主関根德次ノ申出ニ基キ調査スルニ南昌商學聯合會カ九江南潯鐵道停車場ヨリ邦貨電池ノ發送セラるルコトヲ探知シ得タルハ確ニ九江學生團ヨリノ密電ニ依リシモノノ如ク其ノ掠奪ヲ九江ニ於テ為サス南昌ニ於テ為シタルハ九江ニ於テハ曩ニ仁德洋行ノ事件ニ付本官ヨリ強硬ナル交渉ヲ蒙リタル事例ニ鑑ミ南昌ニ於テ掠奪ヲ行ハシムル方得策ナリト思考シタルニ依リナル可シト思料セラる南昌商學聯合會カ右掠奪物件ノ処分ニ関シ去ル四日會議ヲ

七七七

開キ商議セル内容ヲ聞クニ之ヲ焚燬スヘシト主張スル者大
多数ヲ占メ遂ニ公共体育場ニ於テ燒棄スルコトヲ決議セル
模様ナリ

本件ニ関シテハ差当ノ処置トシテ去ル五日直接在南昌督軍
陳光遠、省長戚楊ニ對シ電文ヲ以テ從來學生等カ各処ニ於
テ邦貨ヲ查獲スル等ノ事件頻發スルモ右ハ明カニ日支兩國
ノ締結セル通商條約ニ違背セル行為ナルヲ以テ是等暴徒ヲ
処罰スルト同時ニ被掠奪貨物ハ不日仁德洋行主関根ヲ南昌
ニ遣ス可キヲ以テ同人ニ還付セラル可ク尚將來ノ取締ニ関
シテハ各管轄地方官憲ニ嚴重ナル訓令ヲ發セラレンコトヲ
要求シタルカ右ニ對シ去ル七日軍民兩長官ヨリノ返電ニ依
レハ本件ハ已ニ地方官ニ命シ調査中ナルヲ以テ追テ復答ス
ヘシトノ事ニテ目下尚交渉懸案中ニ屬セリ

更ニ本件發生ト日ヲ同ジウシテ本年一月元旦九江警察庁ハ
九江城外正街居住台灣籍民陳金發カ阿片密売並吸煙ノ嫌疑
アリトノ口実ノ下ニ恣ニ多数ノ巡警ヲシテ金ノ居宅ニ侵入
セシメ家宅搜索ヲ行ヒ若干ノ阿片ト吸煙器物數点ヲ押収シ
陳金發ヲ拘引セントシタルニ海外旅券ヲ提示シ日本籍民ナ
ルヲ立証シ支那官憲ノ拘引ニ応シ難シト抗争中偶當館警察

叙上兩事件ノ發生ニ後レテ去ル一月四日邦商田中為一ナル
者カ景德鎮山本孫市ナル者ニ宛テ顏料二十二磅入毛箱ヲ九
江運送店銓昌祥信局ニ托送セル処同日午後三時頃商學聯合
會員ト称スル拾余名ノ學生団力城内東嶽廟前ニ於テ運搬苦
力ヲ強迫シ該貨物ヲ掠奪シ去リタリト被害者田中ヨリ申
出アリタルヲ以テ九江ニ於テハ曩ニ仁德洋行ノ掠奪事件後
日尚淺キニ拘ラス而モ此ノ種ノ事件頻發スルハ傳道尹カ曩
ニ本官ト面議ノ際約言セル所ト相反セルモノアルカ故ニ去
ル一月七日附照會ヲ以テ一々事實ヲ指摘シテ江西官民ハ拳
ケテ皆國交關係ヲ蔑視シ條約ヲ蹂躪シ以テ本官ノ職權及我
商權ニ迫害ヲ加ヘ居ルヲ責メ事茲ニ至レハ江西ト我國トノ
邦交ハ維持シ難キヲ以テ本官ニ於テハ最後ノ決心ヲ為スノ
要アリ貴道尹ハ事局ニ對シ果シテ如何ナル辦法アリヤ江西
軍民兩長官ト商議ノ上責任アル回答アリ度旨嚴重ニ交渉シ
タリ

叙上ノ如ク本年元旦以來各種ノ事故頻發シ而モ其ノ事件ノ
原因ヲ為スモノハ孰レモ排日ニ職由シ邦交ヲ蔑視シ我既得
ノ權利ヲ侵害セサルモノナシ翻テ人民撫育ノ局ニ當レル江
西地方官憲ノ態度ヲ見ルニ其ノ衷心ニ於テハ日本ニ對シ惡

署長武藤熊雄新年光景視察ノ為巡回中本事件ニ遭遇シタル
ヲ以テ其ノ不法行為ヲ詰責シ犯人ニ對シテハ追テ當館ニ於
テ処理スヘキヲ論シ支那巡警ヲ引取ラシメタルモ去ル一月
一日公文ヲ以テ金宅ニ於テ押収セル証拠物件ヲ拳ケ更ニ阿
片ヲ密売セルノ事實ヲ確認セリト敷衍シ以テ金ノ阿片犯ナ
ル事實ヲ指摘シ本官ニ對シ之カ処罰方ヲ要求シ來タレリ依
テ直ニ警察官ヲシテ金ノ居宅ヲ搜索セシムルト同時ニ彼ヲ
當館ニ引致シテ詳細ニ亘リ審問セシニ彼ノ阿片吸煙ノ事實
ハ悉ク自白シタルモ阿片ノ密売ノ件ニ至リテハ之ヲ否認セ
リ本官ノ認ムル所ニ依レハ金ノ顔色及肉付ノ狀態ニ依リ判
スルニ平生阿片ヲ嗜好シ居ルノ形跡頗ル顯著ニシテ彼ノ自
白ト符合スルモ密売ノ事實ニ至リテハ金ノ否認スル如ク其
証跡ナク尚支那側主張ノ事實ヲ確ムル為藤田書記生並武藤
警察署長ヲ九江警察庁ニ遣ハシ阿片密売事實ノ立証ヲ求メ
タルニ何等ノ実証ヲ提示スルコト能ハス且ツ這般ニ於ケル
支那警察庁ノ行動ハ言フ迄モ無ク我カ籍民ノ居住權ヲ濫ニ
侵害シタルモノニシテ明カニ兩國締結ノ通商條約ニ抵触ス
ルモノナルヲ以テ本月六日附公文ヲ以テ地方當局ノ責任ヲ
問ヒ目下交渉中ナリ

感情ヲ有シ居ラサルカ如クナルモ滔々タル時流ニ抗スル能
ハスシテ何等鎮圧手段ヲ講スルノ誠意ナク常ニ汲々トシテ
自己ノ地位ヲ顧ミルニ忙殺セラレ居ル有様ニシテ斯ル無力
薄弱ナル官憲ヲ相手トシテ交渉スルハ我カ既得權ノ維持上
實ニ不安ニ堪ヘサル次第ナリ今日ニ於テハ尚當地方官憲ハ
形式的ナカラモ排日ノ取締ヲ肯諾シ居ルハ聊以テ意ヲ安ン
スルニ足ル感アリト雖モ事件ノ發生スル毎ニ外交ノ圧迫ト
暴民ノ板挾トナリ唯一時ノ弥縫策ヲ講スルニ過キス是畢竟
北京中央政府ノ對日政策確立セサルカ故ニ地方官ヲシテ斯
ル軟弱ナル態度ヲ採ルニ至ラシムルニ因由ス斯クテ現下ノ
形勢ハ曠日弥久益々惡化シ來タリ日支兩國国民ノ感情ハ官民
共ニ日一日ト疎隔シツツアルハ事實ノ証明スル所ナルヲ以
テ若シ之ヲ現況ニ放任スル時ハ結局最後ニ行詰ル時ノ到來
ス可キハ明瞭ナリト思料セラル此際我政府ハ一層強硬ナル
態度ヲ以テ支那當局ニ臨ミ苟クモ仮借スルコトナク一日モ
速ニ時局ノ收拾ニ資セラレン事ヲ切望致候茲ニ今日迄ノ往
復文書写相添ヘ此段及具報候
写送付先 在支公使 敬具

註 右往復文書写省略

一一 中国ノ日貨排斥運動ニ関スル件 六六八

六六八 一月七日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

北京ニ於ケル日貨排斥運動ニ付陳外交総長代理ニ抗議提出ノ件

附屬書 一月七日附小幡公使ヨリ陳外交総長代理宛公文写
右抗議ノ件

公第七号 (一月十五日接受)

大正九年一月七日

在支那

特命全權公使 小幡西吉(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

当地ニ於ケル日貨排斥運動ハ本日付公信第六号報告ノ通り再ヒ險惡トナレル傾向アルニ付今般別紙写ノ通り其取締方ニ関シ陳外交総長代理ニ申入置候
右及報告候也

(附屬書)

一月七日附小幡公使ヨリ陳外交総長代理宛公文写
北京ニ於ケル日貨排斥運動ニ付抗議ノ件

第六号

以書翰致啓上候陳者貴国各地ニ於ケル学生其他諸種団体

七八〇

ノ非法ナル日貨排斥運動取締方ニ関シテハ前來屢次得貴意置候処近來当地ニ於ケル日貨排斥運動ハ再ヒ激烈トナリ是等運動者ノ行為ハ既ニ眼中法律無ク官憲ヲ無視シ友邦ヲ侮辱シ以テ其非違ヲ遂ケントスルノ概有之現ニ当地学生ノ一団ハ數日來北京国民大会抵制日貨委員會ノ名義ヲ以テ別紙伝單ヲ広ク市中ニ配布スルト同時ニ之ヲ各所ニ貼付致居候右ニヨレハ該委員會ナルモノハ各商店ニ対シ日本貨ノ購買ヲ禁圧シ之カ違反者ニ対シテハ其貨物全部ヲ沒収ノ上焚燬シ且ツ罰金ヲ課セントスルモノニ有之又日本商店ヨリ商品ヲ仕入レタルモノアルヲ探知セハ直ニ之ヲ廠商高等師範学校学生会内仇貨調査股或ハ学生聯合会ニ通告センコトヲ求メ通告者ニハ罰金ノ一半ヲ与フヘシト有之候又本邦商品ヲ取扱フ貴国商店ヨリ聞ク所ニヨレハ北京商務總會ハ曩ニ商務總會名義ヲ以テ印刷物ヲ各商店ニ配布シ日本貨ノ仕入ヲ禁シ日本品在荷表ノ提出ヲ求メタル由ノ処今般又々同会決議ニ基ク旨ヲ以テ日本貨在荷表ノ提出ヲ強要シ今後日本商品ノ仕入ヲ絶對ニ禁止スル旨ノ通告ヲ發シタル趣ニ有之候
查スルニ貴国学生カ本邦ヲ呼フニ仇邦ヲ以テシ日本貨ヲ

小幡 公使

陳外交総長代理宛

六六九 一月十五日 在奉天赤塚總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

天津各商同業公会聯合会發会式ヲ舉行シ日本人トノ取引一切停止ニ付宣言書發表ノ旨船津報告ノ件

第二二号

在天津船津總領事來電

第六号

過般來各界聯合会ニテ計畫中ノ天津各商同業公会聯合会組織ノ件ハ綿糸布同業会ノ反對アリシ為一時頓挫ノ傾アリシモ其後学生側ノ脅迫ニ依リ同会ニ加入スルコトナリ一月十四日愈々其發会式ヲ舉行シ宣言書ヲ發表セリ其目的ハ日本人トノ既定契約ハ暫時之ヲ保留シ一切ノ取引等一切之ヲ停止シテ商業団体ノ決心ヲ表スルニアリトノコトナリ
在支公使ヘ郵送セリ

六七〇 一月十七日

台灣軍參謀部ヨリ
外務次官、參謀次長、陸軍次官各宛

中国南部ニ於ケル排日ノ情况及在福建南軍ノ内訌報

一一 中国ノ日貨排斥運動ニ関スル件 六六九 六七〇

七八一

告ノ件

(一月二十六日接受)

南支情報第四号

大正九年一月十七日

台湾軍参謀部

一、南支排日ノ情况(自十二月初旬)

(一) 福州方面

(二) 厦門方面

(三) 広東方面

(四) 広西方面

(五) 雲南方面

二、在福建南軍ノ内訌

一、南支排日ノ情况(自十二月初旬)

(一) 福州方面

両国民衝突事件共同調査ノ結果ハ絶対秘密ニ附セラレアルカ為一般鎮静ノ態ヲ装ヒアルモ学生ハ依然排日ノ態度ヲ持続シ今尚休業シ支那調査員トハ屢々会見ヲ迫リ秘カニ会見ヲナシツツアリシカ如シ新聞ハ依然日々悲憤慷慨ノ電報書狀ヲ登載シ日本人ノ欠点、短所ト見

ルヘキ記事ハ新旧中外ニ論ナク務メテ登載シ就中健報ハ在福州日本人ノ烟館、賭場、質舖、收押店ノ屋号住所番地等百二戸ヲ掲ケ以テ排日ノ持続ヲ鼓吹シツツアリ

日本人側ハ一般鎮静ヲ守リツツアルモ僑商保護団ハ必要ナシト取消セリ

附、十二月二十一日日本人俱樂部成立シ會員總數百五名(内台湾人二十余名)幹事十名(日人七名台湾人三名)庶務、會計、読書、娛樂ノ四部ニ分チ将来大ニ發展ヲ期セントナスカ如シ

(二) 厦門方面

南支各地ノ排日依然其勢盛ナルニ反シ厦門ハ我在留官民ノ適切ナル行動ノ結果漸ク其跡ヲ絶タントシ曩ニ福州事件勃発ニ当リ多少ノ排日再挙ノ計畫運動ナキニアラサリシモ支那官憲ノ嚴ナル取締ト我官憲ノ適當ナル在留民指導ト相俟テ何等ノ反響ヲ認メス今ヤ外観ハ殆ント終熄セシカ如ク昨八年十二月中旬ヨリハ久シク打撃ヲ蒙ムレル南支航路ノ商船又俄然積載貨物充滿シ台湾銀行為替ノ如キ八年五月初旬排日勃発當時ニ比シ寧

口増加セントスルノ好況ヲ呈シツツアリ從テ其内地ニモ漸次其影響ヲ及ホシ追々下火トナルノ傾向ヲ生シツツアルカ如シ又南軍勢力範圍内ニ於テハ日貨排斥ノ結果輸入貨物激減シ為ニ税金厘金税ノ收入ニ大影響ヲ及ホシ軍費ノ供給ニ多大ノ困憊ヲ來シ終ニ日本品ニ米國品ノ包裝ヲナセルノ明白ナルニ不拘之ヲ看過スルノ已ムヲ得サルニ至リタルト最近学生ノ検査隊モ漸ク倦怠ヲ生シタルカ為内地行貨物モ漸次増加シツツアリト然レトモ之只一時ノ現象ニシテ未タ全然消滅シタルモノトナスハ早計ニシテ将来福州及山東問題解決ノ如何ハ再ヒ排日ノ勃発スルナキヲ保シ難キモ一ツニ日支官民相互ノ意思ノ疎通ニ待ツノ外ナカルヘシ

(三) 広東方面

十二月上旬福州事件ニ関シ学生聯合會員等軍政府ニ押掛ケ上海国民大会ノ決議ト略同様ノ条件ヲ提出シテ嚴重ナル交渉ヲ請願シ軍政府ハ国会ノ献策ニ基キ北京政府ニ対シ日本ト嚴重ナル交渉ヲナスヘシト打電シ又男女学生約二千名ハ市内ヲ巡行シテ示威運動ヲナシ演說会ヲ開キ日貨抵制及日本人ト交際スヘカラサル旨ヲ鼓

吹スル等表面少カラス動揺シアルカ如クナルモ学生ノ示威運動中互ニ意見ノ衝突ヲ起シ不結果ニ終レル等未タ憂慮スヘキ風潮ニハ至ラサルカ如シ

(四) 広西方面

福州事件ノ影響ヲ受ケ十二月中旬頃ヨリ再演セラレ同二十六日先施公司ノ荷物ノ件ヨリ学生等ハ官憲及学校長ノ処置ヲ不当トシ二十八日ヨリ同盟休業ヲナシ路上演說ヲ行ヒ一月一日ノ如キハ大々的示威運動ヲ行ヒ遂ニ師範学校長ハ責ヲ負フテ辭職シ学生ハ五日ヨリ復校緩和セラレツツアリ

(五) 雲南方面

十二月下旬福州事件ニ関シ国民大会ヲ開キタルモ会合者ノ多クハ学生ニシテ単ニ過激ナル排日演說ヲナセルノミニテ雲南ノ有力者及商人等ハ極メテ冷静ノ態度ヲ維持シツツアリ

要スルニ南支ニ於ケル排日ハ福州事件ト共ニ再燃シ再ヒ險惡ノ狀ヲ呈セントセシモ各地居留民ノ自重ト支那官憲ノ取締ト商民ノ困憊ト相俟テ未タ其度ニ達セス現狀維持ノ狀態ヲ保持シツツアリ之ヲ要スルニ福州事件山東問題

ノ解決如何ハ再ヒ彼等ヲシテ乗セシムル口実ト機会トヲ与フルナキヲ保セス故ニ此際公平ヲ主トシ善隣ノ為大ニ我誠意ヲ披瀝スルヲ必要ナリト信ス

二、在福建南軍ノ内訌

永春地方（廈門北方約二百支里）ニ駐紮中ナル南軍間ニ内訌ヲ生シ相互ニ戰鬪ヲ惹起スルニ至レリ
之ヨリ前キ靖国軍總司令方声濤ノ永春ニ至ルヤ護法軍司令宋子靖ハ陰ニ其來春ヲ喜ハサリシモ陽ニ之ヲ歡迎シ護法軍ヲ靖国軍ニ改編スルヲ諾シ之カ為三萬元ノ支出ヲ方ニ要求シ其金ヲ手ニスルヤ我事成レリトナシ却テ陰謀ヲ企テ以テ在永ノ靖国軍ヲ擊滅セントシ十一月下旬頃ヨリ漸次其鋒ヲ表ハシ十二月下旬遂ニ戰鬪ヲ交フルニ至リタルカ如シ又一説ニハ各駐紮地方ノ樟腦及阿片栽培区域問題ヨリ紛争ヲ起シ遂ニ戰鬪ヲ交フルニ至レリト伝ヘラル之ヲ要スルニ其兩者何レニスルモ從來方声濤ト感情ノ好カラサル陳炯明カ宋軍ノ後方ニアリテ之ヲ操縦シ為シ得レハ此機ヲ利用シテ方ヲ失脚セシメント企図シ遂ニ内訌ヲ生シタルモノノ如シ

六七二 一月十九日

在天津給津總領事ヨリ
内田外務大臣宛

在天津本邦綿糸布商ノ取引先中国商ニ対スル契約履行方督促ニ関シ黃直隸交渉員ニ申入ノ件

附屬書

一月十九日附在天津給津總領事ヨリ黃直隸交渉員宛公文写

公信第三三三號

（一月二十六日接受）

大正九年一月十九日

在天津

總領事 船津辰一郎（印）

外務大臣子爵 内田康哉殿

当地日本人綿糸布同業組合ヨリ別紙ノ通り願出有之候ニ付黃交渉員ニ対シ別紙写ノ通り申入置候条右御査閱相成度此段及報告候
敬具

本信写送付先 在支公使

註

一月十九日附天津日本人綿糸布同業組合ヨリ給津總領事宛願書省略

（附屬書）

一月十九日附在天津給津總領事ヨリ黃直隸交渉員宛公文写
在天津本邦綿糸布商ノ取引先中国商ニ対スル契約履行方督促ニ関シ申入ノ件

願出ノ通り措置方可然御取計相成度尚当日ハ当館ヨリモ館員一名同行セシムル筈ニ付右御承知相成度此段申進候也
大正九年一月十九日

在天津

大日本帝國總領事 船津辰一郎

支那共和国外交部特派直隸交涉員 黃榮良殿

註 別紙ヲ省略ス

六七二 一月二十日

在重慶清水領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛

四川地方排貨風潮ノ日本売業輸入ニ及ボス影響ニ付

報告ノ件

公第七號

（二月十七日接受）

大正九年一月二十日

在重慶

領事館事務代理 清水 亨（印）

外務大臣子爵 内田康哉殿

通商報告提出ノ件

通商報告以別紙及提出候間御査閱ノ上可然御取計相成度此段申進候 敬具

(別紙)

排貨風潮ト日本売葉

四川省ニ輸入セラル、売葉ハ大別シテ日本売葉、支那売葉(広東、上海品)及西洋売葉(主トシテ英国品)ノ三種トナスヘシ其中日本売葉ハ輸入総額ノ約八割ヲ占ム当省ニ於ケル売葉ノ輸入季節ハ陰歷正月乃至五月ノ約六ヶ月間トス輸入総額ノ約七割乃至八割ハ此期間内ニ全部其輸入ヲ見ル下半年ニ輸入セラル、モノ僅ニ全部ノ二三割ノミ然ルニ客年当省ノ日貨排斥期ニ入りタルハ正ニ陰歷五月頃ニシテ從テ客年度輸入総額ノ約七八割ハ已ニ排貨期ニ入ルニ先立テテ全部之カ輸入ヲ見タル次第ニシテ下半年ニ於テハ排貨風潮ノ影響ヲ受ケ全部其輸入ヲ見サリシト雖モ右ハ僅ニ総額ノ二三割ニ過キス從テ今日迄ノトコロ排貨風潮ノ本邦売葉業ニ及ホシタル影響ハ實質上微温的ナリシモノト概言シテ差支ナシ著シキ影響ハ正ニ今後ニ於テ現ルヘシ夫ハ当地方ノ商慣習トシテ毎年上半期ニ輸入セラレタル売葉ハ翌年陰歷正月ヨリ二月ニ掛ケテ輸入港タル重慶ヨリ成都、資州、叙州、瀘州、遂寧等ノ内地各消費地ヘ向ケ移入セラル、ヲ常トスルトコロ目下ノ状況ヨリ推及セハ近ク右時期ニ入り

本公信写送付先 在支公使

(別紙)

重慶地方排日運動ニ対スル一般の觀察

(一)重慶地方排日運動ノ特質

当省今次ノ排日運動カ表面上全然支那ノ学生ニヨリテ実行支持セラレツアルコト今次支那ノ他ノ地方ニ於テ見ルトコロト何等異ルトコロナシト雖モ概ネ左ノ諸点ニ於テ之ト稍其趣ヲ異ニスルモノアルヤニ觀察セラル

(イ)運動ノ背後ニ外国官憲又ハ宣教師等ニヨル積極的援助ノ跡ヲ認メサルコト殊ニ物質的援助ノ彼等ニヨツテ与ヘラレタル跡全然之ナキコト

之当省ハ支那ノ中原ヲ去ルコト遠キ長江上流ノ地ニ僻在シ從テ今日尚諸外国ノ勢力伸展ノ跡多ク見ルヘキナク各国亦未タ重キヲ当省ニ措クニ至ラサルカ故ナルヘキカ但シ重慶ニ在住セル天主教ニ属スル宣教師ニシテ三四品性ノ頗ル下劣ナルモノアリ彼等ハ同時ニ学校ヲ設ケテ支那人子弟ヲ收容教育セルニヨリ其關係上彼等学生ニ對シ或程度ノ精神の援助ヲ与ヘタルノ形跡ナキニ非ス

(ロ)運動ノ彼等学生連ノ自発的精神ニヨリテ発シ又ハ支持セ

テ在荷ノ内地ヘ荷動キヲ見ルコト極メテ難カルヘシト被思料若シ果シテ右ノ如シトセハ本年度上半期ハ殆ント売葉ノ輸入ヲ見ル余地ナカルヘキヲ以テナリ(一)民度一般ニ低キ当省支那人ハ売葉ヲ以テ寧ロ一種ノ贅沢品ト解シ居ルコト(二)当省ハ支那ニ於ケル最モ著名ナル葉材ノ產地ナルヲ以テ仮ヒ常時売葉ニ依頼セル一般支那人ト雖モ必要ニ応シテ当省産草根木皮中ニ之カ代用品ヲ見出スコト極メテ易々タルコトノ二ハ今次ノ如キ排貨運動ノ起リタル際必ス之ニ作用シテ間接ニ排貨風潮ノ影響ヲ益々大ニ且ツ持久的ナラシムルモノト觀察セラル

六七三

在重慶清水領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛

重慶地方排日運動ニ対スル一般の觀察報告ノ件

機密第一一号

大正九年一月二十日

在重慶

領事館事務代理 清水 亨(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

重慶今次ノ排日運動ニ対スル一般の觀察以別紙及報告候間御査閱相成度此段申進候 敬具

ラレツツアリト認ムヘキ範圍及程度ハ極メテ小ナリ之当地学校固ヨリ其数ニ乏シカラスト雖モ何レモ中等程度以下ノ学校ニ限ラレ而モ其大部分ハ小学校程度ノモノニ過キス從テ運動ノ主動的分子タル三四名乃至六七名ノ学生ヲ除キテハ他ハ多少其間ノ事情ヲ解シ若シクハ全然其意味ヲ解セスシテ単ニ附和雷同セルモノニ非ザレハ則チ体面上強制ニ応シテ運動ニ参加セル分子ノミナレハナリ

(イ)如上ノ事情ニ加フルニ(二)交渉上ノ巧拙ハ別問題トスルモ兎モ角モ運動勃発以來当館カ百方手段ヲ尽シテ支那側ニ對シテ運動ノ禁遏ヲ迫リタルノ事情並ニ(三)当地ノ支那商人(殊ニ輸入商)カ一般ニ学生團ノ行動ニ對シ少カラス反感ヲ懷キ居リタルニ拘ラス当地方ノ排日運動カ田舎地方トシテハ比較的熾烈ニシテ且ツ持久性ヲ帶ヒ居ルハ他ニ何等特殊ノ原因ノ存在スヘキヲ思ハシメズンバアラズ研究ノ結果之カ特殊原因ト認ムヘキモノ概ネ左ノ如シ

(a)四川軍閥派ノ排日運動ニ対スル態度

南北和平成立後ノ四川ニ於ケル自派ノ地位ノ安全ヲ期セ

ンカ為メノ省内民心収攬策ノ一端トシテ目下四川ノ北方政府ノ実力圏外ニ在ルヲ奇貨トシ今春当地ニ排日運動ノ勃発ヲ見ルヤ四川軍閥派ノ首領熊克武ハ私カニ命ヲ当地鎮守使ニ与ヘ学生等ノ排日の行動ニ対シテハ大体ニ於テ非干渉主義ヲ採ルコトニヨリテ民心ノ離反ヲ避クヘキヲ以テセリト云フ運動ノ熾烈期ニ於テサヘ鎮守使ハ一片ノ告示ヲサヘ出スコトヲ敢テセサリシ亦怪シムニ足ラス本官曾テ四川軍閥派ノ政敵タル当地道尹ニ対シテ当地鎮守使ハ学生団ノ排日運動ニ対シテ如何ナル取締手段ニ出テ居レリヤヲ詰リタルトコロ彼ハ言下ニ何等ノ取締手段ヲ講シ居ラスト断セリ這般ノ消息ヲ伝フル一端ト云フヘシ

(b) 政派ノ關係ニ基ク支那官憲ノ不和不統一

現下大体ニ於テ重慶地方ノ実権ヲ掌握セル四川軍閥派ニ屬スル当地鎮守使ヲ外ニシテ当地方支那地方官トシテ挙クヘキモノ軍閥派ノ政敵タル東川道尹及知事、警察厅长(何レモ道尹ノ党派ニ屬ス)ヲ挙クヘク又別ニ形式上北京政府ノ任命官吏タル交渉員アリ然ルニ道尹一派ハ昨夏ノ所謂万県問題ヨリシテ俄ニ其權勢ヲ失墜シ今日ニ於テハ最早軍閥派ノ前ニ擡頭スルノ実力ナシ殊ニ知事及警

キヲ排日運動ノ取締ニ措クノ慮ヲ薄弱ナラシメタルコト

(d) 当地支那新聞記者中ノ排日分子カ新聞記事ノ上ニ於テ学生連ヲ煽動シ又物質的ニ多大ノ援助ヲ学生団ニ与ヘタルコト

(e) 排日運動勃発当初当館ノ支那側ニ対シテ採リタル処置其当ヲ失シタルコト

其内容ニ就キテハ言及スルコトヲ避クヘシ

(f) 外国商人ノ学生団ニ対スル声援

当地ノ外国商人トシテ兩々相對峙スルモノヲ英商怡和洋行及本邦商新利洋行トス右怡和洋行カ營業競争上ノ見地ヨリシテ此機ヲ利用シ同洋行買辦支那人羅某(根底アル人物ニ非サルモ頗ル排日の氣分ニ充チタリ)ヲ使用シテ多少ノ声援ヲ学生団ニ与ヘタルモノノ如シ

(g) 一部支那商人ノ学生団ニ対スル声援

一部ノ支那商人(輸入商)ノ間ニ於テ物質上ノ念慮ニ発シ營業競争上ノ見地ヨリ時ニ学生団ニ対シテ多少ノ声援ヲ与ヘ若シクハ其助力ヲ請ヒテ此機ニ於テ同業者ヲ窮地ニ陥レント力メタル事実アリ即チ某商人ハ日貨非買同盟

察厅长ノ如キニ至ッテハ内面ニ於テ鎮守使ニ対シ不平不滿禁スル能ハサルモ表面上彼ニ忠誠ヲ誓ヒ其鼻息ヲ窺フコトニヨリテ僅カニ其地位ヲ保持シツツアルノ実状ニアリ從テ彼等カ鎮守使ノ意ニ反シテ迄モ学生団ノ行動ニ対スル取締ヲ嚴重ニスルヲ望ム能ハサルヤ勿論ナリ又交渉員ニ至ッテハ彼ハ前述ノ如ク形式上北京政府ノ任命官吏タルニ鑒ミ百方意ヲ尽シテ軍閥派ノ意ヲ嚮フルニ努ムルヤ寧ロ意外ニ感セララルル節サヘアリ殊ニ客年夏広東軍政府カ新ニ重慶交渉員ヲ任命シテ現在者ノ更迭ヲ發表スルヤ彼ハ直チニ当地鎮守使ニ泣付キ百方手ヲ尽シテ僅カニ更迭ヲ免ルルヲ得タルカ如キ事実モアリ当館ノ請求ニ応シテ彼カ学生団ニ対シテ積極的取締手段ニ出ツルヲ期待スヘカラサルヤ言フヲ待タス

(c) 四川ニ帝國ノ実力未タ認メ居ラレサルコト並ニ四川軍閥派ノ首領ノ稍排日の傾向ヲ帶ヒタルコト

四川督軍及重慶鎮守使ハ何レモ日本留學生出身ナルニモ拘ラス表面上ハ兎ニ角裡面ニ於テ本邦及本邦人ニ対シテ好感ヲ有セス稍排日の傾向ヲ帶ヒタルコトハ帝國ノ実力ノ未タ四川ニ普及シ居ラサルコトト相俟テ彼等ヲシテ重

ヲ結ヘルニ拘ラス私カニ日貨ヲ仕入レタリトカ又ハ私カニ日本商人ト日貨ノ取引ヲ為シタリトカ云フカ如キ事実ヲ発見又ハ耳ニシタルトキハ其趣ヲ学生団ニ通告シテ其活動ヲ求メ以テ其商人ヲ苦シメント試ミタルモノアルコトハ当地總商會々長ノ親シク本官ニ語レルトコロナリ

(h) 学生連ノ提唱ニヨル排日運動ハ寧ロ今回ヲ以テ嚆矢トスルコト

故ヲ以テ官憲モ之カ取締ニ稍戸惑ノ形アリ一般商人亦徒ラニ風声鶴唳ニ驚キ前途ノ成行ノ如何ヲ氣遣ヘリ

(i) 排日風潮伝来ノ徑路

下流地方ニ於テ発行セラルル支那新聞雜誌及排日団体ノ伝單ニヨリ外現実ニ運動実行ノ範ヲ垂レタルハ客年六月上旬排日主義宣伝ノ為メ当地ニ来レル京津地方ニ留学セル四川人学生十二三名トナス

(j) 排日団体

排日団体トシテ挙クヘキモノ「川東学生聯合會」トス本會ハ重慶城内及江北県並ニ附近ノ二十余校約二千ノ学生ヲ包容スト称スルモ上述ノ如ク之カ主動者ハ僅々四五ノ学生ニ過キスシテ他ハ單ナル附和雷同者ノミ但シ当地支

那官憲ノ取締嚴重トナリタル昨今ハ殆ント其存在ヲサヘ疑ハル其他運動勃発ノ当初ニ於テ「暗殺団」「鉄血団」其他不穩ノ団体名称ノ下ニ伝單ヲ散布シタルモノアルモ之等ノ団体ハ實際存在セシモノナルヤ否ヤ疑シキモノアリ目下全然此種団体ノ存在ヲ認メス

右ノ外排日運動ニ關係アル団体トシテ「商學聯合会」ヲ挙クヘシ但シ本会ヲ以テ排日団体ノ一ト見ルコト或ハ不穩当ナルヘシ何トナレハ本会ハ之ヲ商人側即チ当地總商會当局者ヲシテ云ハシムレハ之ハ排日運動ニ付商人側カ学生団ト其行動ヲ共ニセンカ為メニ彼等ト聯合会ヲ組織シタルモノニ非ス商人等カ学生側ノ強迫加入ノ要求ニ對シテ自己ノ正当利益ヲ防護セシカ為メ表面上彼等ト行動ヲ共ニシタルカ如ク裝ヒ以テ一先ツ学生側ノ商人側ニ對スル反感ヲ抑圧シ裡面ニ於テ法ヲ設ケテ年少氣銳動モスレハ過激ナル行動ニ出テントスル学生連ヲ善導セント期スル目的ノ下ニ組織セラレタル由ナレハナリ(右ハ大体ニ於テ事實相違ナシ)但シ学生団ノ側ニ於テハ本会ヲ組織スルコトニヨリテ商人側ヲモ運動ニ加入セシムルコトヲ得タルモノト信シ大体ニ於テ凱歌ヲ奏シタルノ状アリ

商人間ニ遊説シテ一人ニ付二弗乃至三弗ノ寄附ヲ強要釀金シテ学生団ニ与ヘ彼等ヲ物質的ニ援助セリ

(イ)英商怡和洋行買辦羅昇之

彼ハ宜昌軫運使ノ官名ヲ有シテ目下怡和洋行ニ買辦タリ陰謀家ニシテ西洋人ノ鼻息ヲ窺フコトニ最モ力メツアリテ其狀態稍幫間性ヲ帯ヒタルニヨリ一般支那商スラ彼ノ行動ニ對シテ矚目セサルモノナシ今次ノ排日運動ニツキ彼ハ精神の物質的ニ学生団ニ援助ヲ与ヘタリ

(ニ)其他尚排日の色彩ヲ帯ヒタル人物トシテ当地ニ駐在セル四川塩運使張英華及聚興誠銀行總理楊備ノ二名ヲ挙クヘシ前者ハ英國留學生出身ニシテ後者ハ日本及米國留學生出身ナリ何レモ極端ナル欧化主義者ニシテ本邦及本邦人ヲ輕視シテ欧米人ニ親マントスルノ傾向アリ大体ニ於テ排日主義者ヲ以テ目スヘシ但シ彼等カ今次ノ貧弱ナル学生連ニヨル過激的排日運動ニ声援シタルノ跡ナシ

(三)排日学生団ノ主要人物

次ノ三名ヲ以テ之カ首領ト目スヘシ

川東師範學校学生

金元圃

光園學校

学生

青旺容

又事實上ニ於テモ商人側ハ之ニヨツテ遂ニ良ク学生側ヲ誘導セントスルノ目的ヲ達スルコト能ハサリキ但シ本聯合会ハ当地支那官憲カ彼等ニ對シ積極的取締方法ニ出ツルニ及ンテ商會側ハ最早其存立ノ必要ヲ認メストナシ解散セルニヨリ目下ハ存在セス

(四)学生団ヲ煽動シタル人物

(イ)重慶鎮守使副官長李某

彼ハ運動ノ勃発当初ヨリ客年十月初旬ニ掛ケテ屢々学生団ノ代表者ヲ引見シテ運動ノ安全ニ對スル保証並ニ一般的ノ声援ヲ与ヘタルノ形跡歷然タルモノアリ鎮守使カ情ヲ知リツツ之ヲ黙過シ居リタルコト亦事實ナリ但シ彼ハ所謂汽船聯華號問題ノ落着ヲ見ルト同時ニ漂然トシテ何レヘカ姿ヲ没セリ(彼ノ行動ニ就キテハ前任巴縣知事カ曾テ詳細ナル事實ヲ本官ニ語リタルコトアリ又消息ニ靈通セル某支那人ハ曰ク「他跑了、学生団沒有從前那麼大胆子」ト)

(ロ)重慶商務日報(大體ニ於テ重慶總商會ノ機關紙ト見ルヘシ)主筆周文欽

彼ハ由來排日の思想ヲ懷キタル人物ニシテ今次排日運動ノ勃発スルヤ紙上ニ於テ学生団ヲ煽動スルト同時ニ他方

虎中學校

学生

楊玄玉

六七四 一月二十一日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日貨排斥取締方新總理ニ申入ノ件

第六二號

一月十九日新總理ト面會ノ際学生其ノ他ノ排日行動ニ談及シ当地ニ於ケル日貨排斥等支那政府ノ取締アリト云フニ係ラス尚依然行ハレ居リ現ニ北京ニモ学生等ガ税局ニ立チ入りテ日貨ヲ検査シ通關セシメザリシ不法行為アリ斯クテハ我在留民如何ニ隱忍ヲ主トスルモ到底堪ヘ難キニ至ルベク天津其ノ他ノ如キモ居留民大会ヲ開キテ積極的對抗策ヲ取ラントスルノ議スラアリ我官憲側ニテ極力宥メテ事無キヲ得居ル次第ニ付新總理ヨリモ此ノ際有効ナル取締ヲ実行セシメラレタシト申入レタル処總理ハ右ニ對シ支那政府ニ於テ学生等ノ風潮ヲ未ダ全ク防止スルニ至ラザルハ誠ニ申訳無キ儀ニテ過日陳次長ヨリ貴公使ノ申入ヲ伝達アリシニ付直チニ取締方ヲ地方責任機關ニ命ジ又教育部当局ヘモ申渡シ置キタル次第ニテ北京税局ガ学生ノ検査ニ委セシハ曠職ナルニ付取調ノ上責任者ヲ免職スル筈ナリ尚日貨ニ付テハ

其ノ需要極メテ夥多ニシテ支那商人ノ之ニ依リ生計ヲ立ツルモノ夥シキヲ以テ学生風潮ハ余リ強圧ヲ加ヘズトモ長クハ続カズ自分ノ見ル所ニテハ其ノ中消滅スベシト信ズ尤モ政府ニテハ尚有効ナル取締ヲ実施スベキニ付右ニ諒セラレタシト答ヘタリ

奉天新民府牛莊濟南南京九江福州へ郵送セリ

六七五 一月二十三日

在上海山崎総領事ヨリ
内田外務大臣宛

上海ニ於ケル排日貨ト英國輸入品ノ販路挽回ニ関シ
報告ノ件

公信第三五号

(一月三十日接受)

大正九年一月二十三日

在上海

総領事 山崎馨一(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

排日貨ト英國輸入品ノ販路挽回ニ関スル件

本件ニ関スル報告書別紙二通及提出候条御査閱相煩度此段
申進候 敬具

(別紙)

排日貨ト英國輸入品ノ販路挽回

排日貨ノ風潮ハ歐洲品ノ販路挽回ノ機ヲ早メタリ
当地ニ於ケル排日貨ハ福州事件勃発後再燃シ来リタルカ折柄歐洲品ノ輸入漸次戦前ノ状態ニ回復セントシツツアリシ際ナリシヲ以テ一般雜貨ハ支那品ヲ以テ代用トシ綿布類ノ如キハ英國品カ其販路ヲ挽回スルニ一層好都合ノ状態ヲ惹起セリ而シテ日本品輸入数量ハ客年十二月ニ至リ其減少顯著トナリ十一月ノ輸入額ニ比シ日本品ニシテ増加セルモノハ僅カニ傘類ノ老万八千本紙類ノ四百担ヲ増加セル外各品共ニ前月ニ比シ左記ノ数量ヲ減少セリ

綿布	四〇、〇〇〇反	麻袋	三六〇、〇〇〇個
綿糸	一、〇〇〇担	燐寸	二四、〇〇〇哥
被覆	一七、〇〇〇打	綿毛織物	九〇、〇〇〇碼
金屬	二、五〇〇担	機械	皆 無

反之英國品ハ日本品ノ代リニ著シク其輸入額ヲ増加シ之ヲ十一月中ニ比スルニ綿布四十万反綿毛交織物五十万碼被覆老万七千打金屬三万五千担機械類六万両ヲ増加シ之ヲ戦前大正三年五月ノ英國品輸入額ニ比スルトキハ綿布綿毛交織物金屬共ニ尚幾分ノ増加ヲ示セリ左ニ十二月中ニ於ケル日

英兩國品ノ輸入数量比較ヲ表示スヘシ

	英國品	日本品
綿布	一、〇七七、九五四反	三一七、〇五四
綿毛織物	一、一九〇、一九六碼	一七〇、〇五五
被覆	八五、八八一打	三八、七五三
金屬	七八、九〇一担	一二、八七二
機械	九三、三五五両	—

要之現時排日貨風潮ノ永続ハ欧戰ノ結果日本品ノ為メニ其販路ヲ奪ハレタル歐洲品カ特別ノ努力ヲ要セスシテ其販路ヲ挽回スルニ好箇ノ機會ヲ与ヘタルモノニシテ此点ニ於テ本邦輸出業者カ其輸出減退ヲ以テ一概ニ排日貨直接ノ影響トノミ思考スルハ誤レリト云フヘシ

六七六 一月二十五日

南天津軍司令官ヨリ
上原参謀総長宛(電報)

天津日貨排斥ニ関スル中国学生ノ横暴行動ニ対シ中
國側ニ嚴重取締要求ノ件

陸同文、親展

(一月二十九日外務省写接受)

天電第十二号

天津ニ於ケル学生ハ一月中旬以来運搬中ノ日貨及日本人使

一一 中国ノ日貨排斥運動ニ関スル件 六七六

用ノ貨物ヲ押収セルコト数回ニ及ヒ二十三日ニハ遂ニ支那町ニ於テ日支合資経営ノ商店ニ赴キ商品ヲ奪取シタル上店員タル支那人一名ヲ商務總會ニ拉シ更ニ二十四日ニハ此支那人ヲ市中引廻ヲ為シ排日演說ヲ行ヒタリ
茲ニ於テ我總領事ハ省長及交渉員ニ最モ嚴重ナル警告ヲ与フルニ決シ先ツ交渉員ヲ同行シテ警察厅长楊以德ヲ訪問シ嚴重ナル取締ヲ為スコトヲ要求セリ然ルニ楊以德ハ既ニ着手シ居タリシカ此警告ニ依テ断乎タル処置ニ出ツルニ決シ直ニ多数ノ巡警ヲ派シテ該店員ヲ取戻シ尚学生団ノ首唱ト認ムヘキ馬震、馬錢理、孟春高其他合計二十一名ヲ逮捕シ拘禁セリ
楊以德曰ク予ハ今戰線ニ立テリ断乎トシテ所信ヲ実行スト意氣軒昂ナリ

我居留民ハ大会ヲ開キテ支那警察ニ後援ヲ与フル等ナリ之カ指導ハ總領事ニ於テ実施ス本職ハ總領事ト協議ノ結果參謀ヲ派シ鎮守使ニ対シ目下ノ如キ緩慢ナル学生ノ取締ニテハ福州事件以上ノ事變發生スヘキコトヲ警告セシメタルニ鎮守使ハ警告ニ対スル好意ヲ謝シテ左ノ如ク答ヘタリ
学生ノ取締ハ省長カ温和主義ナル為今日マテ断乎タル処

置ニ出ツル能ハサリシモ最近督軍ヨリ学生カ国交問題ヲ引起ス如キニ至ラハ嚴重ナル取締ヲ為スヘシトノ命令ヲ為シタル為二十四日ノ事件ニ際シ省長モ愈々断乎タル処置ニ出ツルニ決シ警察長ニ命令シ学生ヲ逮捕セシメタルモノニシテ尚警察力不足ノ時ハ直ニ兵力ヲ使用シ得ル様自分等ニ於テ準備シアリ今後ハ之ノ方針ヲ持続シ決シテ学生ニ横暴ナル行動ヲ為サシムルコトナシ云々ト

六七七 一月二十六日 在奉天赤塚總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

天津日中人合弁雜貨店ヲ中国学生襲撃セルニ付警察庁長へ暴行者処分等嚴談ノ件

第四三號

船津ヨリ第一五號

本月二十(脱)日午後四時頃当地東門内日支人合辦雜貨店「魁発成」方ニ七名ノ学生闖入シ本邦品ヲ調査シタル上「ランプ」附屬品二十三籠(価格二百余弗)ヲ押収引揚ゲタル旨届出ニ依リ特務巡查ヲ現場ニ出張セシメタル処一名ノ学生商店内調査中ナリシニ依テ日本警察官ナル旨ヲ告ゲ之ヲ詰問シタルニ彼ハ学生聯合会調査員ナリト称シ其証拠紙

其取締方ヲ中国政府ニ要請セシムル様取計方船津ヨリ稟請ノ件

第四四號

船津ヨリ

第一六號

(一月二十七日接受)

当地学生ノ不法行為ニ関シテハ支那側ニ對シ屢々嚴談ヲ加ヘ支那側ハ時々之ガ取締ノ布告ヲ發シ猶小官ニ對シテハ嚴重取締勵行方声明シ居レルニ拘ラズ学生等ノ跳梁ハ依然熾マズ最近学生(不明)員ハ小林洋行ノ時計押収、永信料器廠ノランプノホヤノ押収(不明)洋行ノ依托品ノ押収等ノ事件ヲ頻發シ復々往電第一五號ノ如キ魁発成被害ノ發生ヲ見ルニ至リ排日風潮ハ益々惡化シ來レル傾向アリ今二十四日交渉員及警察庁長ニ嚴談スルト共ニ曹省長ニ對シテモ嚴談ニ及ビ置キタル次第ナルガ從來ノ状況ニ見ルニ曹省長ノ如キハ自己ノ地位ノ安全ヲ計ルニ汲々タルノミニテ部下ニ對シ何等徹底セル命令ヲ下サザル為楊警察庁長ノ如キ實際如何トモ手ノ附ケ様無キ模様ニテ結局学生等ノ跳梁ヲ増長セシムルノミニシテ一方近來類似ノ事件發生ノ為(脱)継続スルニ於テハ福州事件ノ二ノ舞ヲ演ズルナキヲ保セズ甚

片ヲ呈示シ我ガ巡查ノ之ヲ手帳ニ記入シ居ル隙ヲ狙ヒ戶外ニ逃走セリ右ニ付當館ヨリハ直チニ警察庁ニ對シ取締方通告シ置キタル処同日午後十時過六七十名ノ学生等ハ該店ヲ襲撃シテ「ランプ」火屋五籠ヲ破壊シ店員支那人裴某及張某ヲ拉致シテ学生聯合会ニ引揚ゲ更ニ商務總會ニ引廻ハサレタルガ張ハ散々殴打ノ上放逐セラレ裴ハ其儘抑留セラレ学生等ハ二十四日同人ヲ市中引廻シノ計画ナリトノ報告ニ接シ小官ハ即刻支那側ニ右通告スルト共ニ本二十四日黃交渉員ヲ訪ヒ尚同交渉員同道楊警察庁長ヲ往訪シ暴行者ノ嚴重処分被害品ノ還付并ニ之等ノ引渡方嚴談シ置ケリ其際楊庁長ノ言フ所ニ依レバ實ハ裴某ニ付テハ當庁ヨリ学生等ニ對シ其引渡ヲ命ジタルモ全然聽入レザルニ付曹省長ニ請訓シ現ニ鎮守使トモ打合セノ上多數ノ軍隊及巡警ヲ商務總會ニ派遣シ市中引廻シヲ禁止セシムルト共ニ裴ノ引渡ヲ待チ居ル次第ナリト答ヘタリ

六七八 一月二十六日 在奉天赤塚總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

天津地方中国学生ノ排日行動ニ付在中国公使ヲシテ

憂慮ニ堪ヘザル次第ニ付此ノ際尚在支公使ヨリモ支那政府ヲシテ地方官ニ對シ学生等ノ不法行為取締ヲ徹底のニ勵行セシムル様嚴重交渉セララル様至急御措置相成リ度シ在支公使ヘ転電セリ

六七九 一月二十七日 在琿春秋洲副領事ヨリ
内田外務大臣宛

鮑吉林督軍ノ排日ヲ目的トスル密令ニ付報告ノ件

機密公信第一四號 (二月九日接受)

大正九年一月二十七日

在琿春

副領事 秋洲郁三郎(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿
吉林督軍鮑貴卿ハ此ノ頃左記概要ノ密令ヲ内達シタル趣ヲ以テ当地商務会及ヒ農務会ニテハ之ヲ各郷社長ニ即達シ一般ニ周知セシメ尚農務会ニテハ來月六日(陰十二月十七日)之ヲ敷衍シ該趣旨ノ徹底ヲ期スヘシトノコトニ有之候条何等御參考ノ為メ此段報告申進候 敬具

記

世界列強ノ相鼎立シテ互ニ利權獲得ニ汲々タル刻下ノ時

局ニ鑑ミ吾等中華國民ハ先ツ國民ノ義務トシテ日本ヲ排斥シ之カ実行策トシテ左記ヲ敢行セサルヘカラス

一、日本人ニ土地家屋ヲ提供スヘカラス

一、日本人ヨリ金錢ノ融通ヲ為スヘカラス

一、日本貨物ハ絶対ニ使用セス本国品ヲ使用スヘシ

以上

本信ヲ發送先 在支公使吉林總領事間島總領事

六八〇 一月二十九日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

北京學生聯合會代表者山東問題直接交渉反対等排日の請願文ヲ大總統府ニ提出ノ件

第九三号

一月二十八日午後北京學生聯合會代表數十名白旗ヲ携ヘテ大總統府ニ層集シテ謁ヲ求メ長文ノ請願文ヲ代呈セリ其ノ要領ハ山東問題ハ直接交渉ヲ拒絕スベク福建問題ハ國民大会ノ意見ニ基キ弁理スベク天津捕縛事件ハ一面日本ニ抗議シ一面地方官ヲ懲戒シ國民言論集會ノ自由ヲ回復スベシト云ヒ最後ニ苟クモ政府ニシテ右ニ從ヒ弁理セバ國民ハ死ヲ誓ヒ政府ノ後援トナルベク若シ我意ヲ通スガ如キコトアラ

バ後日ノ大難如何ナル点マデ及ブベキヤヲ知ラズ民怨恐ルベク衆厭侵シ難シ云々ト脅迫ノ字句ヲ掲ゲタリ全文郵送ス尚在上海ノ王揖唐モ亦一月二十五日附ヲ以テ直接交渉反対ヲ打電シ来リタル趣ナリ

六八一 一月二十九日

南天津軍司令官ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

拘留學生解放方要求ノ天津學生團ニ対スル省長ノ措置ニ付報告ノ件

大臣同文

(二月二日外務省寫接受)

本二十九日午後天津學生團ハ再び支那街ノ一角ニ集合午後三時其數約三千ニ達スルヤ拘留學生解放ノ目的ヲ以テ省長衙門ニ到リタルモ省長ハ却テ軍隊及巡警ヲ驅ツテ解散ヲ強要セリ玆ニ於テ非常ナル混雜ヲ生シ負傷者百余名ヲ出セリ

六八二 一月三十日

内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

天津ニ於ケル排日運動嚴重取締ヲ中国当局ニ要請スル様訓令ノ件

第五七号

天津ニ於ケル騷擾ノ顛末ハ船津ヨリ迭次ノ電報ニ依リ御詳

貴電第一二号ニ関シ

貴地ニ於ケル學生等ノ排日行動ニ就テハ屢次御申入アリ尚貴地司令官ヨリ東少將宛公電ノ次第モアリ依テ本使ハ一月三十日特ニ陳外交總長代理ニ面會ヲ求メ最近天津ニ於ケル學生等ノ日貨差押其他總ル暴行ノ実情ヲ列挙シ我カ在留民ニ於テモ之ガ為メ甚ダシク奮激シ居ルハ勿論正当業務遂行上此儘ニテハ到底不安ニ堪ヘザルヲ以テ我ガ駐屯軍ニ対シ出兵保護ノ要求ヲナシツツアル位ニテ万一此ノ險惡ナル狀態ヲ放任セバ再び福州事件ノ如ク兩國民間ニ如何ナル椿事ヲ惹起シ兩國ノ為メ甚ダ不幸ナル不詳問題ヲ生ゼシムルニ立チ到ルモ計リ難ク本使ガ之迄何回トナク外交部ニ来リテ各地ニ於テモ排貨排日ノ取締ヲ嚴重確実ニ行ハルノ要アルヲ切言セシハ實ニ此点ヲ慎重顧慮セシニ出デシ次第ニテ右ハ支那政府ニ於テモ早ヤ百モ御承知ノコトニテ今ヤ地方ノ秩序維持上ヨリ云フモ嚴重措置ノ絕對必要ナルヲ悟ラレタルベシ然ルニ先ツ天津ニ於テ曹省長ガ風説ノ如ク一旦拘留シタルモノヲ釈放スルガ如キコトアラバ不法學生ヲ抑フルコトハ永遠出来ザル可シト述べ尙湖北山東ノ如ク督軍省長等ノ取締措置相当嚴重ナル地方ニテハ狀況比較の佳良

悉ノ通ナル処支那各地ニ於ケル排日運動ニ関シ帝國政府カ嚴重ナル警告ヲ与ヘタルニ對シ支那政府ニ於テ正ニ法ヲ設ケテ開導ノ責ヲ尽スヘキ旨ヲ聲明シタルハ極メテ最近ノ事實ナルニ拘ラス政府所在地ニ近接セル地方ニ於テ今回ノ如キ暴挙ヲ見ルニ至リタルハ頗ル遺憾ノ至ニシテ殊ニ船津來電第一六号ニ拠レハ地方官憲ノ取締頗ル徹底ヲ欠キ為メニ

益々學生等ノ跳梁ヲ増長セシムル虞アル趣ナルニ就テハ貴官ハ支那当局ニ對シ往電第一八号我方覺書ヲ引用シ上記ノ次第ヲ指摘シテ至急嚴重取締ノ措置ニ出ツル様交渉ノ上結果電報アリタシ天津ヘ郵報アリタシ

註

一月十四日外務大臣宛小幡公使宛第一八号ヲ省略セリ該電ハ小幡公使ヨリ中国政府ニ對シ中国學生團其他ノ排日妄動嚴遏ヲ要請スル覺書ニ関スルモノニシテ該覺書ハ一月十六日小幡公使ヨリ外交部ニ提出セラレタリ

六八三 一月三十一日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

天津地方學生等ノ排日暴行ニ関シ中央政府ヨリ曹省長ニ對シ嚴重取締嚴命方陳外交總長代理ニ申入ノ件

第一〇八号

本使發天津宛電報第九号

一一 中国ノ日貨排斥運動ニ関スル件 六八三

ナルヲ指摘シ天津ニ於ケル如キ險惡ナル事態ハ一ニ省長ノ優柔ナル態度ニ歸セザルヲ得ザルニ付此際中央政府ヨリ同省長へ嚴令アリタシト要求セシニ陳代理モ本使ノ所言ニ同感ヲ表シ本件ニ付一月三十一日ノ國務會議ニ提議シ其ノ上ニテ何分ノ措置ヲ執ルコトトスベシト約セリ
右ハ名和司令官ヘモ伝ヘラレタシ
外務大臣ヘ転電セリ

六八四 二月二日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

排日運動嚴重取締方ニ関スル口上書陳外交總長代理
ニ手交ノ件

第一二三号

貴電第五七号ニ関シ二月二日日本使陳外交總長代理ト会见右貴電ニ基キ作成セル口上書ヲ手交シ且ツ天津ニ於ケル魁発成、小林洋行、永信料器廠、志大昌等ニ対スル不法事件ヲ指摘シ同時ニ往電第一一八号^(註)当地ニ於テ河田医師ニ対スル学生ノ暴行事件ヲモ挙ゲ若シ果シテ支那政府及ビ地方官憲ニ於テ此等外人店舗侵入貨物奪取其他ノ犯人ニ対シ自国法律ヲ適用シ得ズ又在留外人ニ対スル条約上ノ保護ヲ尽シ得

省ヲ促スニ足ル強硬手段ヲ執ルカ然ラザレバ現内閣ヲ破壊セシメ有力内閣ヲシテ之ニ代ラシムル外適當ノ方策ナシト信ズ

上海、天津、広東、漢口、濟南、南京、奉天ヘ電報セリ

註 二月二日小幡公使發第一一八号ヲ省略セリ

六八五 二月十四日 在上海山崎總領事ヨリ
内田外務大臣宛

上海ニ於ケル日貨排斥ノ本邦主要輸入品ニ及ボセル影響ニ付報告ノ件

公信第一〇六号 (三月一日接受)

大正九年二月十四日

在上海

總領事 山崎馨一(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

上海ニ於ケル日貨排斥ト主要輸入本邦品

本件ニ関シ別紙報告書二通及提出候条御査閱相煩度此段申進候 敬具

(調査者 外務書記生横田伝四郎)

(別紙)

一一 中国ノ日貨排斥運動ニ関スル件 六八五

ザルモノトスレバ難テ無政府無法律ノ状態トナル次第ナルヲ以テ勢ヒ我方ニ於テモ何等自衛ノ方法ヲ講ズルノ外ナキニ立チ到ル可キヲ以テ支那政府ニ於テモ慎重考量ヲ加ヘ何分ノ回答アリ度キ旨ヲ申入レタルニ陳代理ハ去月三十日御申出ノ次第モアリタルニ付前回ノ國務會議ニ於テ自分ヨリモ今ヤ政府トシテ学生等ニ対シ取締ヲ嚴行セザル可カラザルヲ切言シ置キタル次第ニテ政府ニ於テ何等力強硬ノ取締ヲ講ズル答トナリ居レリ口上書ニ対シテハ追テ何分回答スベシト答ヘタリ

陳代理トノ会谈ハ右ノ通りナルカ本使ノ見ル所ヲ以テスレバ支那政府当局ガ既ニ現在ノ如ク無力軟弱極マレル以上如何ニ学生等取締ニ付幾回ノ要求ヲナシ又幾多ノ声明ヲナサシムルトモ恐ラク十分ニ之ガ成功ヲ期スルコト殆ド不可能ニシテ我政府ニ於テ強硬ナル決心ヲ以テ高压的ニ学生ノ妄動ヲ反省セシムルニ足ル丈ノ何等乎ノ手段ヲ執ルカ左ナクバ段祺瑞ノ如キ有力者出テ内閣ヲ組織シ最モ強硬ナル政策ヲ以テ之ニ莅マザル限り到底現政府ノ無力ハ今日学生等ノ横行ニ依ル紛擾状態ヲ取鎮ムルコト可能ナリト認ムル能ハズ從テ此先キノ状況如何ニ依リテハ我方ニ於テ学生ノ猛

上海ニ於ケル日貨排斥ト主要輸入本邦品

綿糸 取引杜絶セルニ際シ支那系ハ著シク發展シ印度系ノ輸入モ亦大ニ増加セリ

綿布 下級品ハ支那品ニ庄セラレ上等品ハ欧米品ノ侵蝕ヲ受ケントス

麦酒 打撃甚タ著シ

洋紙 見ルヘキ取引ナシ米国品強勢ヲ獲得セントス

海産物 打撃最モ甚タシ從來本邦商ノ取扱ニ係ル加奈陀産

鮮ハ最近米国人ニヨリテ輸入セラルルニ至レリ

石炭 支那炭ノ移入著シク増加シ本邦炭ハ激減セリ

砂糖 本邦糖ノ需要激減ニ乗シ香港糖ノ活躍目覺シキモノ

アリ

薬品 最近米国品著シク殺到セリ

時計 小口取引アリ

板硝子 白耳義品ノ輸入激増セリ

セメント

文房具 何等起色ナシ

雜貨

客年五月山東問題ヲ動機トシテ突発セル排日排貨ハ数月間

猖獗ヲ極メ商取引殆ト全ク杜絶シタリシカ其後漸次緩和セラレテ、十一月ノ取引稍々旧ニ復セントスルノ傾向ナリキ然ルニ十一月末福州事件ヲ動機トシテ排日排貨ハ再び勃発シ其運動数日ナラスシテ殆ト支那全部ニ波及シ又復商取引殆ト杜絶スルニ至レリ是等排日排貨ハ果シテ何時ニ至リテ終熄スヘキヤ之ヲ逆睹スルヲ得スト雖モ其日支貿易上ニ多大ノ悪影響ヲ及ホセルヤ固ヨリ論ナシ而シテ排日排貨ハ支那ノ各種工業ニ勃興ノ好機会ヲ与ヘ又欧米品ハ此機ニ乘シテ戰時中失墜セル勢力ノ挽回策ニ汲々タリ戰時中獲得セル本邦品ノ地位ヲ維持センコト蓋シ容易ノ業ニアラサルナリ左ニ主要輸入本邦品ノ大体ノ状況ヲ記述スヘシ

綿糸 日貨排斥ハ福州事件ヲ動機トシテ再び勃発セルタメ支那商ハ後難ヲ恐レ本邦商ト取引セサルニヨリ日本トノ商談ハ一時全ク杜絶セリ其後排日運動ハ表面稍々沈静ノ姿ナルモ各地ノ運動熾烈ノタメ支那商ハ日貨取引ニ對シテハ当分見送りノ態ニテ市況甚タ不振ナリ斯ク排日ハ前途ニ多大ノ不安ノ念ヲ与ヘ日本人経営ノ紡績業ハ悲惨ナル崩落ヲ見タリ昨年末ヨリ本年初メニカケ金融大ニ逼迫セルト排日気分險惡ノ傾向ヲ呈セルニヨリ市況大ニ惡化セラレタルモ

ニ欧米品輸入杜絶ト共ニ本邦品ノ發展ハ甚タ著シキモノアリシモ粗布、綾木綿其他下級綿布ハ支那内地品ト競争漸次激烈トナリ殊ニ支那産綾木綿ハ本邦品ヲ圧倒シテ確固タル地盤ヲ形成セントス加フルニ戰爭終局ヲ告ケタルニヨリ其結果英米品捲土重来ノ勢ヲ以テ侵入シ来レリ蓋シ本邦品ハ日貨排斥ノ機会ニ於テ下級品ニアリテハ支那品ニ圧セラレ上等品ニ於テハ英米品ニ侵蝕セララルノ窮境ニ陥ラントス

麦酒 客年五月以来ノ排貨ニヨリ六、七月ノ輸入ハ著シク減少シ八月ニハ稍々回復ノ傾向アリシモ其後殆ト増加セス十二月又復排貨ノ再発アリ其被レル打撃鮮少ニアラス専ラ商標ニヨリテ販路ノ開拓ヲ図ル本品力排貨ノ打撃著シキハ止ムヲ得サルトコロナルヘシ

洋紙 日貨排斥ノタメ殆ト見ルヘキ取引ナシ且ツ契約品ノ引渡ニ於テモ多少ノ渋滞ヲ免レス殊ニ客年末ニ際シテハ金融逼迫ノタメ引渡渋滞シ本邦内地ノ紙界ハ益好調ナルニ反シ当地ニ於テハ殆ト取引ナク市況甚タ沈滞ナリ本品モ亦戰時中著シク販路ヲ拡張シ支那ニ於ケル洋紙中首位ヲ占ムルニ至リシカ客年五月ノ排日貨以来米國品ノ輸入著シク増

最近稍々緩和ノ兆ナキニアラス金融亦多少引緩ミタル等ニテ相場反動高ヲ示シ来リタレハ未タ樂觀ヲ許ササルモ市況稍々強調ナルモノノ如シ然レトモ相場ニ何等根底ナシ需給相場ノ出現ハ蓋シ旧正月明ナランカ

爰ニ特記スヘキハ日貨排斥ニ加フルニ本邦ニ於ケル太糸類ノ輸出禁止ハ著シク支那系ノ發展ニ好機会ヲ与ヘ支那綿糸ハ確固タル地盤ヲ築キツツアリ之ト同時ニ歐洲戰爭中著シク衰頹セル印度綿糸ハ著々勢力ヲ挽回シ来リテ其昨年中ノ輸入数量ノ如キハ前年ニ比シ著シク増加セリ要スルニ上海市場ニ於ケル本邦綿糸ハ印度系支那系ノ二大強敵ニ対応セサルヘカラサルニ至レリ

綿布 金融逼迫ニテ実需薄ノ折柄福州事件ヲ動機トシテ学生團ノ排日宣伝トナリ痛ク人氣ヲ害シ全ク取引ナシ其後漢口方面「ボイコット」惡化ノ報アリ日本内地又連日下押ノタメ当地市況ハ一層ノ鈍状ヲ呈シ買氣更ニナシ而シテ年末ニ際シテハ金詰リト「ボイコット」トニテ不況ノ折柄日本内地ニ於ケル異常ノ低落ニヨリテ人氣更ニ惡化セリ新年早々本邦ニ於テ反撥アリタメニ当地氣配モ幾分良化セルカ如キモ排貨ノタメ細布類安値ニテ小口売行アルノミ要スル

進シ最近ハ瑞典方面ヨリノ輸入戰前ノ狀態ニ回復セントシツツアリ之等ハ本邦品ヨリ安価ニ提供セラルルニ至レルヨリ露要激増シ今ヤ本邦品ヲ圧倒シテ市場ニ強勢ヲ獲得セントス排日後ヨク本邦品カ米國品及瑞典品ヲ掃蕩シ得ルヤ否ヤ頗ル疑問トスル所ナリ

海産物 客年五月以来ノ排貨問題ハ漸次終熄ノ姿ニテ貝柱、海參、塩鱈等ボツボツ売行アルニ至リ十月頃ヨリ漸ク取引ノ曙光ヲ見ルニ至ルヤ当業者ハ競ヒテ続々之ヲ輸入セルタメ人氣惡化シ取引ヲ阻害スルモノアリシ折柄十二月ニ入り又々排貨トナリ何レモ多額ノ在荷ヲ擁シテ而モ相場ハ一ケ月前ニ比シ三割ノ下落ヲ示シ当分取引休止ノ止ムナキニ至リ或ハ内地又ハ台灣等へ積戻シヨ余儀ナクセラレタルモノアリ

元来上海市場ヲ初メ支那各地ニ於ケル海産物ノ大部分ハ日本産若クハ日本人ノ取扱ニ係ル外国産品ナルヲ以テ日貨排斥ニ際シ常ニ第一著ニ犠牲ニ供セラルルハ当然ノコトトス而シテ本邦商、支那商共ニ前途ヲ悲觀シ殆ト投売ノ姿ニ出テタレハ今ヤ市中在荷激減シ最近ニ至リ相場ハ反撥ヲ告クルニ至レリ爰ニ日貨抵制運動カ海産物界ニ及ホセル影響ト

シテ特筆スヘキハ從來日本人ノ取扱ニ係リシ加奈陀産鮮カ最近米国人ノ手ニヨリ輸入セラルルニ至レルコトトス是レ從來本邦商カ神戸等ニ輸入シ之ヲ支那ニ再輸出セルモノナリシモ本邦商ノ取扱ニ係ルモノハ縦令外国産タリトモ排斥セラルルニ至リシヨリ此機ニ乗シテ米国人カ活躍セルモノニ外ナラサルナリ

石炭 本品ニ対スル影響モ亦甚タ大ナルモノアリ客年五月日貨排斥ノ挙アリテ以來地方ヘノ日本炭積送りハ殆ト不可能トナリタルニ加ヘ上海市場ニ於テハ支那炭ヲ擁シテ国貨提唱、日貨排斥ヲ標榜シテ盛ニ本邦炭ノ商域侵蝕ニ力メタルノミナラス本邦内地ニアリテハ事業界ノ好況ニ連レ需要著シク増加シ且生産費増加セル為メ炭価甚タシク昂騰シ来リテ支那炭トノ競争愈々困難トナリ来レリ之ヲ上海ニ於ケル輸入数量ヨリ見ルモ開港炭ノ移入数量ハ著シク増加シ客年中上海輸入総額ノ三割七分ヲ占ムルニ至リ之ト反対ニ本邦産ハ著シキ減少ヲ見タリ本邦炭ノ趨勢ニシテ爾後永続シ内地需要増加亦依然トシテ輸出力減退スルニ於テハ或ハ遠カラサル将来ニ於テ本邦炭ハ市場ヨリ影ヲ没スルノ期ナシト云フヘカラス

セサルモノノ如シ然レトモ此機ニ乗シテ香港糖ノ勢力ヲ挽回スルコトアラハ本邦糖ノ将来ニトリ一大痛棒タルヘキヲ記セサルヘカラス

薬品類 排日貨ノ影響ニ加フルニ本邦内地ニ於ケル価格非常ニ昂騰シタレハ現在ニアリテハ米国品ノ方却テ割安ナルニヨリ最近米国品著シク当市場ニ殺到セリ本邦品ノ被ル打撃愈々増大スヘシ

時計 抵制ノ余波ハ本品ニモ及ヒ運搬上ノ困難等アリテ取引ニ障害ヲナセルモ元来本品ハ必要品ニテモアリ且価格ニ於テ米国品等ト大差アレハ排貨ニ拘ラス買手ハ絶エスシテ市中在荷減少シ市価上昇小口取引ハアル模様ナリ

板硝子 本品モ亦日貨排斥ノ影響ヲ受ケテ既約品引渡ノ外新規商談中絶ノ状態ニアリ元来本邦板硝子ハ戦時中相当ノ勢力ヲ占メタルモノナルモ昨今歐洲方面ノ産業漸次回復シ来リ船舶出廻リモ亦潤沢トナリ本品ノ本場タル白耳義ヨリノ輸入増加シ昨年以来既ニ二万六千箱ノ輸入アリタリト称セラル上海使用量一ケ年四万箱内外ノ見当ナリト云ヘハ日貨排斥ノ折柄本邦品ハ大打撃ヲ受ケテ益々窮境ニ陥ルヘシ現ニ本邦品ノ契約ヲ中止スルモノアリト云フ

砂糖 客年五月以來ノ日貨排斥ニヨリ日本糖ノ需要著シク減少シ加フルニ本邦ニ於ケル糖価昂騰セルタメ需要ハ益々減退セリ蓋シ支那ニ於ケル砂糖需要ノ増減ハ価格ノ高低ニ左右セラルルノ程度ニアリ此糖価昂騰需要激減ニ乗シ香港糖ハ戦時中失墜セル対支勢力ノ挽回ニ好機逸スヘカラストナシ其活躍目覚シキモノアリ糖価ノ奔騰ニ際シ太古、怡和ノ如キ日々少カラサル売込ミアリ本邦糖モ亦商標ヲ改メテボツボツ内地ニ荷動キアルニ至リシカ偶々福州事件ヲ動機トシテ排貨再発シタレハ本邦商ハ從來砂糖商ノ取引所タル十六舖ノ天春堂ニ出入スルヲ差控フルニ至レル有様ニテ日本糖ノ商談ハ表面全ク杜絶セリ然ルニ香港糖モ亦停滯日貨ト共ニ荷物不動停滯ノ状態ニ陥リ年末金融ノ大逼迫ト共ニ上海ノ糖界ハ世界糖界ノ大活躍ニ逆行シテ市況ノ沈滞ヲ誘致スルニ至レリ然レトモ日本糖ノ商談ヲ見サルコト久シキニ亘リ在荷次第ニ減少セルタメ最近買氣アレトモ何分ニモ排貨運動ノタメ表面取引不可能ノ状態ニアリ上海ニ於ケル糖界ノ現狀斯クノ如クナルニ際シ糖価ハ世界的ニ昂騰シツツアレハ本邦内地ニアリテハ必スシモ支那ニ販路ヲ求ムルノ要ナク日貨排斥ノ如キモ殆ト何等痛痒ヲ感

セメント 日貨排斥ノ關係上本邦品ハ其値ノ如何ニ拘ラス殆ト買手ナシ加フルニ為替ハ輸入品ニ有利ナルニヨリ需要家ハ何レモ買控ノ態ニアリ然レトモ近時各商社ノ改築工事続々着手セラレ市況活氣ヲ呈シ舊新セメントノ需要大ニ増加セルモ本邦品ハ依然トシテ荷動キ稀ナリ元来セメントハ建築家、土木請負業者等カ屋外ニ於テ需要スルモノナレハ本邦品タルヲ示ス商標等ヲ有スルモノノ使用ヲ避クルハ当然ノコトナルヘシ然レトモ租界ノ官衙及本邦商社ノ建築工事ニハ使用セラレ現ニ本年度工部局セメントノ入札ハ三井ノ手ニ落チタリ

文房具 日貨排斥ノタメ引続キ取引ナク何等緩和ノ傾向ヲ見ス現今ハ新春準備ニ忙ハシキ時機ナルニ拘ラス殆ト何等ノ起色ナシ此現狀ヲ以テ推移セハ或ハ致命的打撃ヲ受クルノ恐ナシトセス

雜貨 毛糸、縫針、瑤瑯鉄器、タオル等何レモ排貨ノ惡影響ヲ受ケ加フルニ旧年末金融逼迫ノタメ市況益々惡化セリ殊ニタオルノ如キ殆ト相場ナキ現狀ナリ

六八六 二月十七日 在天津船津總領事ヨリ 内田外務大臣宛

天津ニ於ケル排日風潮其後ノ状況報告ノ件

公信第九一号

(二月二十五日接受)

大正九年二月十七日

在天津

総領事 船津辰一郎(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

当地ニ於ケル排日風潮其後ノ模様別記ノ通りニ有之候条御
査閱相成度此段及報告候 敬具

本信写送付先 在支那公使在上海総領事漢口総領事在濟
南総領事

(別紙)

天津ニ於ケル排日風潮其後ノ状況

客月二十三日魁発成事件発生後間モナク学生軍警衝突事件
勃発シ爾来官憲ノ取締漸ク嚴重ヲ加ヘタル結果学生其他ハ
英仏租界内教会学校乃至私人住宅等ヲ其集合所ト為シ殊ニ
仏租界倫敦教会及附属学校新書院ノ如キハ其主ナル会合
所ト目セラレ(英国総領事ハ断シテ此ノ如キコトナシト本
官ニ弁明セリ)又各界聯合会、学生聯合会、救国十人団等
ハ事務所通信処ヲ仏租界内ニ移シ被逮捕学生ノ釈放負傷学

生ニ対スル撫恤、所謂天津ノ原状恢復、山東問題等ヲ論議
シ国民大会開催ノ件ヲ協議シ又上海、北京等各地ニ代表者
ヲ派遣シテ声援ヲ求メシメ女子師範、中西及貞淑両女学校
(此二校ハ「ミッシン、スクール」)等生徒等亦中西依山
各女学校其他支那町私人住宅等ニ於テ蠢動ヲ続ケ居レリ然
ルニ客月末ヨリ多数兵員ヲ当地ニ移駐セシメ必要ノ場合何
時ニテモ戒嚴令施行準備整フヤ此等学生等ハ本月七日南開
学校ニ開会ノ予定ナリシ国民大会ノ挙行ヲ停止スルニ至リ
又南開学校長張伯苓ノ如キハ排日風潮勃発以來密ニ排日盲
動ヲ続ケ居ルモノナル処其一子カ学生軍警衝突ノ際負傷シ
又爾来同校ニ対スル官憲ノ監視嚴重トナルヤ遂ニ其職員一
同ト共ニ辭職ヲ宣言シ又女子師範学校校長齊國樸(広島高等
師範卒業)ノ如キモ従来排日色彩ヲ帶ヒタル人物ト認メラ
レタルモノナルカ同校生徒ノ拘禁及負傷セシメラレタル以
来新書院等ニ出入シ排日決議ニ加担セルヤノ形跡アリ又
各学校教職員中新タニ各界聯合会ニ入会盲動セントスルモ
ノ現ハレ耶蘇教牧師信徒中ニハ引続キ排日団ニ新加入スル
モノモ少カラス学生其他排日団ハ最近西北城外清真寺ニ集
合シ上海方面ノ例ニ倣ヒ外交ノ監督、過激手段ニヨル売国

賊ノ剪除、学生ノ自由恢復等ノ主旨ヲ実行セン為メ監督外
交救国団ナルモノヲ組織シ上海總団指揮ノ下ニ全国一致行
動センコトヲ協議セリト伝ヘラレ尚又救国十人団穆某(回
教徒ニシテ小錢舗及金貸ヲ業トス)等乞巧頭目ヲ糾合シ愛
国乞巧団ナルモノヲ組織シ乞食ヲシテ愛國ヲ鼓吹セシメ毎
日銅貨一個宛ヲ蓄ヘシメ之ヲ集メテ苦民工廠設立ノ資ニ充
ツヘシト称シ滑稽染ミタル計画モ行ハレツツアリ

一方官憲ハ曩ニ学生及軍警衝突ノ際逮捕セル四名ノ学生代
表ハ北洋營務処内ニ拘禁シ居レル処拘禁者銃殺ノ風説切リ
ニシテ風潮ヲ激成セントスルノ兆アルニ鑑ミ之ヲ警察庁内
ニ移禁スルコトトシタルカ警察ノ学生等ノ行動ニ対スル取
締ハ益々有効的ニ実行セラレ其行動ヲ嚴重監視スルト同時
ニ各学校ヘノ出入ヲ監視シテ集会スルコト能ハサラシメ又
停車場方面ノ取締ヲ嚴ニシ又其信書電報ヲ検査シテ各地ト
ノ連絡ヲ杜絶スルニ努メ居レルノミナラス商務總會董事ニ
シテ日貨調査主任救国十人団主腦者タル楊曉林ヲ逮捕拘禁
シ(揚ノ拘禁ハ大ニ一般商民ノ賛同歡迎スル所トナレリ)
尚排日煽動主腦者益世報經理劉俊卿其他救国十人団員宋則
久、伊素忱、王卓忱、王醉生等ヲ逮捕スヘク夫々手配中ナ

ルモノノ如ク商務總會長卞蔭昌ノ如キモ近来稍不安ノ念ヲ
起シ英租界内ノ別宅ニ引籠リ支那町方面ニ出入スルヲ避ケ
居レリトコトナリ尚前記不法団体ノ英仏租界内集合ニ対
シテハ官憲ハ英仏領事ニ対シ之カ取締方要求シ居レリトノ
コトナレトモ未タ充分取締ノ実効ヲ挙ケサルモノノ如ク学
生其他ハ依然兩租界内ニ於テ内密会合ヲ続ケ居レリ尤モ目
下旧曆年末ニ際会シタレハ此処数日間ハ此種会合ヲ見サル
ヘシ

而シテ拘禁者釈放方ニ関シ学生及支那人牧師等ハ青年会ニ
米人宣教師ヲ招待シ米國領事ニ之カ斡旋方依頼セル噂アル
ノミナラス学生等其他ハ米國司令官ニ対シテモ同様釈放運
動ヲ為セリト伝ヘラルルモ米國司令官ハ右風説ハ全然無根
ナル旨ヲ公式新聞紙上ニ告白セリ尚又省議會議長辺守靖一
派ハ学生等ノ拘禁以來省長ニ対シ再三其釈放方ヲ要求シ若
シ旧曆年末迄ニ実行セサルニ於テハ再び如何ナル事端ヲ発
生スルヤモ計ラレステ暗ニ省長ヲ強要シ居レリト伝ヘラ
ルル処省長ハ此等請願者ニ対シ有力者ニシテ今後確實ニ学
生等ヲシテ再び盲動セシメサル保証ヲ為サハ許可スルモ差
支ナキ意向ヲ洩シタル由ナルモ今後如何ニ落着スルヤハ目

下ノ処不明ナリ

尚支那側各商同業者等ハ学生其他排日団ノ強要ニ余儀ナクセラレ棉糸布同業組合ノ如キ本邦商ニ対シ契約履行中止ヲ申出シ来リ我同業者ハ之ニ対シ嚴重交渉ヲ重ネタルモ支那商ハ学生ノ暴行ヲ恐レ容易ニ之ニ応セス依テ当館ニテハ支那官憲ニ対シ支那商ノ契約履行嚴命方嚴重交渉中ノ処客月二十三日魁発成事件勃発後官憲ノ取締勵行セラルルヤ此勢ニ乗シ支那側各同業組合ハ直チニ排日の規約ヲ廢棄シ爾来本邦商トノ取引ハ漸ク復旧シ来リタリ本月ニ入りテ非常ニ活氣ヲ呈シ新契約ヲ申込ミ来ル者続出シ今日迄ニ約三万俵ノ新取引ヲ見タル有様ナリ

六八七 二月二十三日

在天津船津總領事ヨリ
内田外務大臣宛

天津英國商業會議所山東問題ニ関シ英國外務省商業會議所等ニ要請ノ件

機密第二六号

(三月二日接受)

大正九年二月二十三日

在天津

總領事 船津辰一郎(印)

船渠ノ管理及其奥地ニ於ケル鉄道敷設權等ヲ包含スル政治上及經濟上ノ特權ヲ獲得スルニ於テハ日本ハ茲ニ上海又ハ天津ヨリモ更ニ優秀ナル海港ヲ支配スルニ至ルヘク斯クテハ幾度門戸開放ノ宣言ヲナスモ曾テ滿洲ニ於テ採リシカ如ク遂ニハ日本商人ニ対シテ優先權ヲ与フルコトトナリ其結果從來英米兩國力深キ根柢ヲ有セシ北部支那貿易ノ大部ヲ掌ケテ青島及日本人ノ手ニ委スルコトトナリ從テ天津又ハ上海ニ対シテ多大ノ打撃ヲ与フルモノナルコト及之力救正策トシテハ日支新條約ヲ廢棄シ山東ニ於ケル支那ノ主權ヲ回復シ北部支那ニ於ケル鐵道、船渠及借款ノ國際管理ヲ行ヒ青島ニ共同居留地ヲ設定スルニアルコト等ヲ摘示セルモノニ有之候処之ニ対シ倫敦商業會議所ヨリ返電アリタルモ何等満足シ得ヘキモノニアラサリシ趣ニ有之候尚本件ニ関スル詳細ハ別紙^(註)写ニ就キ御承知相成度御參考迄ニ此段御報告申進候 敬具

本信写送付先 在支公使

註 別紙省略

六八八 二月二十七日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

一一 中国ノ日貨排斥運動ニ関スル件 六八八

外務大臣子爵 内田康哉殿

天津英國商業會議所ノ山東問題反対決議ニ関スル件

本件ニ関シテハ客年八月十六日附往電第一四六号全八月二十日附往電第一四九号並八月十九日附機密第四一号及全八月二十一日附機密第四二号拙信ヲ以テ及報告置候処今般小官カ North China Daily Mail 主筆 Bate ヨリ入手セル“Minutes of the Fourth Annual General Meeting of the Tientsin British Chamber of Commerce held in the Committee Room of the Garden Hall on Friday, the 24th day of October 1919” 中別紙写 The Future of Shantung ノ一節有之候右ニ依レハ当地英國商業會議所ハ山東問題ニ関スル長文ノ電報ヲ本国外務省ニ送り更ニ一方之ヲ倫敦商業會議所ニ打電シテ「リバプール」「マンチエスター」及「グラスゴー」ノ各商業會議所ニ通告センコトヲ請フト同時ニ他方上海、芝罘、漢口ノ各商業會議所及当地米國商業會議所ニ通告シテ其援助ヲ請ヘル趣ニ有之候右電報ノ内容ハ山東問題ニ関シ英米兩國力支那援助ニ失敗セル結果ハ兩國ノ通商及特權ニ対シテ甚敷惡影響ヲ与ヘタルコト又若シ日本ニシテ独逸カ山東ニ於テ享有セシ鐵道又ハ

昨年五月授業中止ヲ命セラレタル青島明德中学校ニ

関シ米國政府ヨリ我方ニ開談アルベキ旨報告ノ件

機密第八五号

(三月三日接受)

大正九年二月二十七日

在支那

特命全權公使 小幡酉吉(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

青島明德中学校ニ関スル件

青島ニ於ケル米國教会附屬明德中学校教員生徒等排日運動ニ關係ノ故ヲ以テ昨年五月二十六日青島守備軍ニ於テ同校授業中止及校長退去ノ処分ヲ行ヒタル次第ハ御承知ノ通りニ有之候処(青島民政長官發外務次官宛客年五月二十六日附高秘第五〇号信参照)今回右善後処置ニ関シ米國側ヨリ帝國政府ニ対シ何等カ開談シ度キ儀有之候趣ニテ当地米國公使館ヨリ右ハ東京又ハ当地何レニテ申出ル方實際上便利ナルヘキヤト内々問合セ越候ニ付米國政府ニ於テ右ノ如キ申出ノ必要アリトセハ何レニ於テ開談セラルルモ差支ナキモ当館ヘ申出ラレタル場合ニハ一ト先本省ニ報告シ同省ヨリ陸軍当局ニ移牒スルノ外ナキ次第ニ付何レカト云ヘハ寧

ロ在本邦米國大使館ヨリ外務省へ申出ラルル方適當ト思考スル旨答へ置候就テハ近々本件ニ関シ在本邦米國大使ヨリ何等カ申出ノ次第可有之ト存候間予メ御含ミ置相成度御參考迄此段申進候也

本信写送付先 青島民政長官

註 高秘第五〇号ハ大正八年日本外交文書第二冊下卷二二〇五頁第一〇九一文書

六八九 三月三日 在成都國原總領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛

四川商學聯合會學生團ノ山東問題直接交渉反對遊行
演述狀況報告ノ件

往信第二一號

(四月一日接受)

大正九年三月三日

在成都

總領事館事務代理 國原喜一郎(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

本件ニ関シ別紙ノ通り及報告候間御査閱相成度此段申進候

敬具

本信写送付先 在支公使

(別紙)

四川商學聯合會學生團遊行演說ノ狀況

当地商學聯合會ハ昨日曆年末ヲ限り日本貨ヲ廉売シ穩健ナル手段ヲ以テ店舗陳列ノ日本品ヲ一掃セント計画シツヽアリシカ廉売ノ結果日本品ノ売行盛ニシテ為メニ中国商品ノ売行ヲ減シ中ニハ中国商品ノ廉売ヲナシタル程ナリシカ大半旧曆年末迄ニ販売シ終リタルヲ以テ之カ紀念旁山東問題直接交渉反對ノ遊説ヲ兼ネ學生團約三百人ハ三月二日遊行演述ヲナシ先ツ省長公署ニ到リ省長ニ面会ヲ求メ省長ハ之ヲ引見シタルカ學生團幹事ハ省長ニ對シ山東問題ニ関スル日本ノ直接交渉要求ハ督軍省長ニ於テ反對意見ヲ北方政府ニ打電シタル由ナルカ最近北政府ヨリノ回答到着シタルヤ否ヤト問ヒタルニ省長ハ未タ返電ニ接セスト答ヘタルニ付幹事ハ更ニ北政府ハ現在此問題ニ對シ明白ノ態度ヲ表示セシヤ否ヤト尋ネタルトコロ省長ハ北政府ハ未タニ明白ノ態度ヲ表示セスト答ヘタリ幹事ハ日本ノ通牒ノ内容如何ヲ尋ネタルニ省長ハ通牒ノ内容ハ僅ニ新聞紙上ニテ見タルノミニテ未タ原文ヲ見スト答ヘタルヲ以テ幹事ハ直接交渉ニ反對ナルコトハ西南既ニ一致セルカ若シ反對無効ノ場合ニ於

ケル第二ノ辦法ハ既ニ準備シアリヤト追問セシニ省長ハ川滇俱進會ハ重慶ニ於テ曾テ軍事會議ヲ開キタル際若シ北政府カ民意ヲ顧ミス強テ直接交渉ヲナサントスルニ於テハ必ス師ヲ誓テ声討スヘク此項ノ準備ハ將來西南ニ於テ必ス一致ノ行動ヲ取ルヘシト答ヘタルニ付幹事ハ今日更ニ請願シタキハ(一)民意ニ根拠シ北政府ニ最後ノ抗争ヲ打電スルコト(二)北政府ニ京津國民ノ自由ヲ恢復スル様打電スルコト(三)抗争無効ノ場合ニ於ケル第二辦法ヲ講セラレタキコトノ三事ナリト述ヘタルニ省長ハ第一第二ニ對シテハ完全ニ承諾シ第三ニ對シテハ西南ハ必ス一致シテ準備ヲナスヘシト答ヘタルヲ以テ學生團ハ更ニ督軍公署ニ到リ督軍ニ面会ヲ求メタルモ督軍ハ引見セス副官代リテ面会シタルカ幹事ハ副官ニ對シ最近北京政府ヨリ返電アリシヤ否ヤヲ尋ネタルニ副官ハ返電アリタル旨ヲ答ヘタルヲ以テ幹事ハ該返電ハ明白ノ表示アリシヤ否ヤト問ヒタルニ副官ハ電文ニヨレハ此問題ハ尚考慮中ノ由ナル旨ヲ答ヘタルカ幹事ハ督軍ハ日本通牒ノ内容ヲ知レリヤ否ヤト問ヒタルトコロ副官ハ知ラサル旨ヲ答ヘタリ幹事ハ更ニ若シ直接交渉反對無効ノ場合ニ於テ督軍ニ於テ既ニ第二辦法ヲ準備シ師ヲ出シ北方ノ醜類

ヲ声討スル準備アリヤト尋ネタルニ副官ハ督軍ハ自ラ必ス死ヲ誓テ反對スヘシ出師スルト否トハ民意ニ從フヘシト答ヘタルカ幹事ハ前ニ省長ニ請願シタル三事ヲ督軍ニ請願セシコトヲ求メタルカ副官ハ之カ代達ヲ承諾シ且督軍ハ既ニ京津ノ學生救済方ヲ北京ニ電報セル旨ヲ告ケタルヲ以テ學生團ハ退出シ各街ヲ遊行シ各処ニテ演述ヲ行ヒタルカ其最も熱烈ヲ極メタルモノ左ノ如シ

我等カ遊行演述ヲナスハ北方政府ノ山東事件処理ニ對スル我等ノ主張ヲ諸君ニ知ラサン為メナリ山東福州ハ我等ノ中國我等ノ領土ナリ然ルニ故ナク他人ノ侵掠侮辱ヲ受ケタリ我友邦ハ米國ナリ米國ハ我ニ代ッテ不平ヲ抱キ保留案ヲ主張セリ最近又新聞紙ノ報スル所ニヨレハ英仏二國モ之ニ一致贊同セリ我等ハ此機ニ乘シ此事件ヲ國際聯盟ニ提出シテ交渉処理シ以テ我等ノ主權保存ノ目的ヲ達セサルヘカラス北方政府ノ売國賊ハ常ニ日本ト直接交渉ヲナサント欲セリ彼等カ直接交渉ヲナサント欲スルハ國ヲ売リ己ヲ肥サントスルカ為メニシテ主權ノ如何存亡ノ如何ハ眼中ニナシ一面又國民外交ヲ抑圧シ彼ニ反抗スル者ハ之ヲ慘滅センコトヲ力メ居レリ彼ノ天津等ノ地方ニ於テ學生聯合會ヲ解散シ代

表ヲ拘禁セルカ如キハ法律ニ照シ総テ合法ナリト云フヲ得
ス我等ハ畢竟微弱ナルヲ以テ即刻此等蠻行ヲ推倒スルコト
困難ナルモ民意ノアル所自ラ一種ノ百折不撓ノ奮闘の精神
アリ如何ナル蠻行ヲ以テ我等ニ対シ如何ナル苦痛ヲ我等ニ
加フルモ我等ハ必ス我等ノ主張ヲ貫徹セサレハ止マサルヘ
シ幸ニ我等ハ護法政府ノ区域内ニ在リ護法政府ハ民意ヲ抑
圧セサルヲ以テ我等ハ此際ニ於テ中日直接交渉ヲ打破セン
ト欲ス若シ北方政府カ堅執スルニ於テハ我等ハ護法政府
ニ要求シ即時師ヲ出シ彼ト開戦シ一面各国ニ打電シテ北方
政府ハ我中国ノ政府タルコトヲ承認セサルヘシ我等ハ更ニ
犠牲の精神ヲ以テ護法政府ノ後援トナルヘシ諸君中国ハ我
等ノ中国ナリ決シテ彼等數人ノ売国逆党ノ中国ニアラス山
東ハ甚タ遠ク我四川ト關係ナシト云フ勿レ日本人ハ常ニ野
心ニ満テリ彼山東ヲ得レハ更ニ尺ヲ得テ歩ヲ進ムヘシ山東
問題ハ今ニ於テ國際聯盟ニ提出シテ処理セサレハ後日國際
聯盟ハ再ヒ我等ノ事件ヲ管セサルニ至ルヘシ思フテ此処ニ
至レハ実ニ人ヲシテ戰慄セシム諸君ヨ我等ト一致力争シ以
テ主權ヲ救ヘ然ラサレハ國將ニ亡ビシ

人商店側ニ於テハ例年ニ比シ多少商況不振ノ影響アルモ排
日氣勢ノ漸次良好ニ向ヒツツアルハ疑ナシトノ趣ニ有之候
而シテ青島問題直接交渉反對、福州事件ノ強硬の抗議ノ民
意ハ南方側一般ノ氣運ニ煽ラレ相當論議致居候得其ノ都
度中央政府ノ命令ノ下ニ当地官憲ヨリ一般市民ニ対シ民意
ヲ尊重シ外交問題ハ慎重考慮スヘキニ付輕拳以テ藉口ノ非
ヲ招カサル様警告シ國民大会等ノ挙ヲ禁シ風潮為メニ平穩
ヲ保チ在留民ニ於テモ一同安堵セル次第ニ有之候尚一般民
意ノ現内閣紛擾問題ニ関シ南方派ノ刺激ニ依リ北方軍閥ノ
傀儡タル安福系ヲ忌憚シ民論多少沸騰セシメ居レルハ系統
的關係ヨリ当然ノ儀ト被存候尚又官憲ハ過激派の運動ニ極
力警戒シ是等分子ノ活動並此ノ種宣傳の出版物取締ニハ充
分意ヲ用キ居レル結果幸ニ何等影響ヲ受ケサルノミナラス
斯カル分子ノ出沒無キ模様ニ有之候右報告申進候 敬具
本信写送付先 在支公使

六九一 四月五日 在南京岩村領事ヨリ
内田外務大臣宛

南京地方日貨排斥運動漸次鎮靜ノ旨報告ノ件
送第五七号 (四月十四日接受)

六九〇 三月十八日 在蘇州大和久領事館事務代理ヨリ
內田外務大臣宛
蘇州ニ於ケル排日氣勢終熄及時局ニ関シ報告ノ件
公第二一号 (三月二十四日接受)

大正九年三月十八日 在蘇州
領事館事務代理 大和久義郎(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿
客年青島問題ニ関スル排日運動一時終熄ヲ告ケタルニ福州
事件勃發以來更ニ排日氣勢ヲ高メタル処右ハ上海學生團ノ
煽動ニ依リ当地學生團カ一時的の活動ニ止マリ一般商人ハ商
況ノ不振ヲ虞レ内心反對ノ意向ヲ以テ附和雷同ヲ避ケ頗ル
冷淡ノ態度ニ出テ一面官憲ノ取締相當意ヲ用キタル結果日
ナラスシテ終熄シ其ノ後上海ニ於ケル排日運動ハ不絶新聞
紙上ニテ伝ヘラレタルニ係ラス幸ニ当地ニ傳播スルニ至ラ
ス日ヲ經ルニ從ヒ益々鎮靜ニ向ヒ今ヤ排日行為全然一掃セ
ラレ日貨ノ売行ニモ差シテ惡影響ヲ見ス本邦貨物ハ公然店
頭ニ排列シ一般顧客モ平然購入シ居レル次第ニテ之ヲ日貨
扱支那商ニ問フモ事實日貨抵制ハ終熄セル趣ニ有之在留邦

大正九年四月五日

在南京 領事 岩村成允(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿
當館管内ニ於ケル日貨排斥運動ニ関シテハ去ル二月二十七
日附送第四二号拙信ヲ以テ報告ニ及ヒタルカ其後一兩度學
生等カ支那人所有ニ係ル日本品ニ対シ迫害ヲ加ヘタル小事
故アリタルモ概シテ右ノ風潮緩和シ来リ本邦小売商店ハ今
尚売行キ思ハシカラサルモ卸店ハ相當取引ヲ為シ居レリ支
那商店ニ於テハ學生等ノ妨害ヲ恐レ一時ニ多量ノ日本品ヲ
輸入スルコトヲ見合セ居ル模様ナルモ一般ニ日本品仕入ニ
渴望シ居ル情況ナリ又昨年七八月中学生等カ市中各処ニ開
店シタル國貨販賣所ハ商売ノ經驗ナキタメ損失ヲ重ネ且ツ
資金ニ欠乏シ繼續スルコト能ハサル由ニテ何レモ廢業スル
ニ至レリ

一方南京學生聯合会ニ於テハ山東問題及福州事件未タ解決
ヲ見サル今日愛國ノ運動ヲ中止スヘカラスト称シ三月十七
日当地中學以上ノ學校代表者三十二名集合シ右両問題ニ関
シ會議ヲ為シタル結果代表者六名ヲ選出シ上海ニ赴カシメ

同地学生聯合会ト聯絡討議セシムルコトニ決議シ右六名ハ既ニ上海ニ赴キタル由ナリ又同聯合会ハ当地呉服商天章カ私ニ日本貨ヲ輸入シタルニ付懲罰トシテ其輸入貨物ヲ焼棄シ且同店主人ヲ市中ヲ引廻スコトニ決議シタル由ナルモ右ハ總商会ノ反対ニ遇ヒ実行スルコト能ハスシテ其儘ト為シ居ル趣ナリ尚最近当地警察庁ハ学生聯合会ニ対シ解散ヲ命シ又学校側ニ於テハ各学校校長協議ノ結果日貨排斥煽動学生数名ヲ退学処分ニ附シタル由新聞ニ掲載アリタルニ付警察庁ニ就キ右事実ヲ問ヒ合セタルニ同庁ニ於テハ教育庁トモ打合セノ上成ルヘク温和ナル手段ヲ以テ彼等ヲ自覺セシメ日貨排斥行動ヲ為サシメサルコトニ努メ近來著シク好果ヲ認メタルニ付尚此方針ヲ持續シ居ルモ未タ強制的ニ学生聯合会ノ解散又ハ学生ノ退学処分若ハ処罰ヲ実行シタルニアラスト答ヘタルカ近頃聯合会ノ看板ハ撤去セラレ事実解散ニ近キ状態ニアリ要スルニ警察庁ニ於テハ近來稍々有効ナル取締方ヲ講シ一面商人側ニ於テモ学生等ノ措置ニ反対ヲ称フル者増加シ來リ又学生等ハ其運動ニ要スル費用ニ欠乏セル由ニテ前月來南京、鎮江、蕪湖、其他各地ニ於テモ排日的行列又ハ演說等ノ運動ヲ聞カサルニ至リ日本商品ノ販

路漸次恢復ノ傾向ナルカ一部学生等ハ尚暗ニ排日運動ヲ画策シ居ル趣ナルヲ以テ青島問題及福州事件交渉ノ落着ヲ見サル間ハ前途尚十分ノ樂觀ヲ許ササルモ現在ニ於テハ昨年来ノ日貨排斥運動カ漸次終熄ニ近ツキツアルモノノ如ク觀測セラル

右及報告候 敬具

本信写送附先 在支公使上海總領事

六九二 四月七日 在九江河西領事ヨリ
内田外務大臣宛

九江ニ於ケル中国商人ニ依ル日清汽船利用ノ再開及
日貨輸入増加ノ状況報告ノ件

往信第四〇号

(四月十九日接受)

大正九年四月七日

在九江

領事 河西 信(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

本邦商品輸入ト日清汽船ニ対シ支那商貨物漸次積荷開
始ノ件

当地本邦汽船会社日清汽船ニ対シテハ客年六月日貨抵制以

來支那商貨物ノ積載全ク停止セラレ本年ニ入ルモ容易ニ荷

主トノ折合ヒヲ見ル能ハサル状態ニアリシカ最近上海方面ノ景況聊カ穩和ニ傾キ貨物ノ陸揚地タル同地ニ於ケル支那荷主被害ノ憂ヒ多少緩和サレタルヲ以テ四月ニ入りテヨリ支那側荷主モ始メテ安心シテ積荷ヲ肯スルニ至レリ本月ニ入りテ取扱ハレタル支那貨物ノ種類ハ大口ノ物ニテハ水藍、紙ニシテ其他小口ノ貨物モ相当ニアリ上掲貨物ノ外当港輸出ノ米ハ其ノ数量頗ル多額ニ亘リ客年十二月五日米輸出解禁以來今日迄ニ輸出セラレタル数量約四五十万担ト称セラルル程ニシテ之等貨物ハ排貨前ハ南潯鐵道トノ聯絡便

載モ漸次回復セラル可シト觀測セラル

尚特ニ注意ヲ要スルハ客月下旬ヨリ本月ニ入りテヨリ支那商輸入ニ係ル日貨ノ激増ニシテ單ニ日清汽船ノ取扱ニ係ル分ニ徴スルモ今月中ノ分ハ先月ニ比シ約十倍セリト称セラレ其ノ数量ハ茲ニ之ヲ掲記スルノ煩ヲ避ク可キモ其ノ種目ハ石鹼、綿糸、綿織物、ランプ、ハンカチーフ、染料、海産物等ノ日用品ニシテ右ハ已ニ在貨涸渴セル折柄ナルヲ以テ地方民ノ需要頗ル強烈ナレハ今後上海方面ノ景況変化ヲ見サルニ於テハ往年排貨前ニ倍シテ多額ノ輸入アル可シト推測セラル

宜上殆ト日清汽船ニ積込マレ居リシカ排貨ト共ニ商招局汽船又ハ太古、怡和兩汽船ノ為メニ奪ハレ大打撃ヲ蒙リ居ル次第ナルカ右米ノミハ今日尚荷主側ニ於テ搭載ヲ肯セス然レトモ当地商民トシテハ排貨ハ頭初ヨリ其ノ不利ヲ覺悟シ居リ敢テ本邦商ニ対シテ積極的ニ反抗ヲ試ムル者ナキハ屢次具報ノ通りニシテ彼等ノ今日迄ノ行動ハ全ク学生聯合会ト一部商民ノ輿論及上海荷捌ノ不安ニ制セラレタル結果ニ出テタルモノナルカ故ニ昨今学生聯合会ノ干渉微弱トナリ且ツ上海ニ於ケル抵制運動モ緩和シタル有様ナレハ米ノ積

尚往信第三二号報告書末段ニ於テ報告ニ及ヒタル学生團昆布押収事件ハ已ニ九江總商会ノ決議ニ於テ商人ノ主張通り荷モ商人ノ營業ニ対シテ学生等カ干涉ヲ試ムル如キハ誠ニ事理ヲ転倒シタル沙汰ナルヲ以テ斷シテ聽從スルノ要ナシト言フニ一決シ一方警察庁ヲ始メ地方官憲ニ於テモ若シ之カ為メ学生聯合会ヨリ危害ヲ蒙ルニ於テハ商民側ニ対シテ充分ニ保護ヲ与フヘシトノ保証ヲ為シタリト言フヲ以テ尠クトモ当地ニ於テハ現今ノ狀態ハ頗ル有利ナル状態ニ在リ叙上ノ如クナルヲ以テ目下ノ処ヲ以テ之ヲ觀レハ本邦日清

汽船ノ景況恢復及右總商會ノ決議ト相俟ッテ本邦品ノ輸入ハ漸次公然のトナルニ至ル可シト思料セラル
右及具報候 敬具

六九三 四月十七日 在長沙池永領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

常德ニ於ケル学生及各界連合会ノ排日運動ニ對シ邦人保護方中央當局ト交渉アリ度旨小幡公使ニ稟請シタル件

第二二二号

本官発在支公使宛電報

常德日本人会長高橋ノ報告ニ依レバ同地ハ日貨排斥激烈去ル十一日ハ学生及各界連合会ノ示威運動行ハレ市街ヲ練リ歩キ演説ヲ為シ檄文ヲ撒布シタルバ各支那雜貨商ハ結束窮狀ヲ同地官憲ニ具陳セシモ拒絶セラレタルヲ以テ翌十二日各雜貨店ハ閉店取引ヲ中止シ同盟罷業ヲ起セリ然ルニ十三日学生等ハ支那雜貨商及海產物商ヲ襲ヒ日支貨ニ區別ナク強奪セルモ邦商ハ官憲ノ保護ニ依リ幸ニ事ナカリシト当館ハ予メ邦人保護方ヲ当地交渉署員ニ交渉シタルニ未開港地ノ理由ニ依リ反テ引揚ゲヲ主張シ居ルヲ以テ貴地ニ於

テモ中央當局ト至急然ル可ク御交渉アリタシ漢口ヘ転電セリ

六九四 四月二十七日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

常德地方暴徒ノ本邦人ニ加ヘタル損害ニ對スル責任並排日学生等ニ對スル地方官憲ノ不誠意ナル取締振ニ付中国政府ニ申入方訓令ノ件

第二三七号

長沙發貴官宛機密信第五号ニ関シ支那官憲ノ外国人ノ生命財產等ノ保護義務ハ該外国人又ハ財產ノ所在地カ開港市タルト否トヲ問ハサルハ条約ノ明定スル所ナルヲ以テ本件本邦人ノ損害ニ對シ支那側ハ常德カ未開放地タルノ故ヲ以テ責任ヲ回避スルヲ得ス將又本邦人立退要求ハ毎々ノ事ナカラ承認シ難シ蓋シ常德ニ於ケル外国人ノ居住ハ永年ニ亘リ支那官憲ノ默認シ来リタル所ニシテ在留外人ハ何レモ右默認ニ信賴シ諸般ノ施設及計画ヲ立テ来リタルニ拘ラス今更立退ヲ命スルカ如キ要素ヨリ妥當ナラサル処置ト思考セラ

ル就テハ貴官ヨリ支那政府ニ對シ右ノ趣旨ヲ申入レラルト同時ニ地方官憲ヲシテ帝國領事ト誠意本件ノ解決ヲ図ル引渡ス能ハサルヲ以テ保護方願出タルニ依リ之カ取締ヲ當局ニ要求シ置キタルモ貴地當局ニモ警告方可然御取計ヲ請フ

六九六 四月二十九日 在天津船津總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

天津学生ストライキ決行ノ件

第七五号

過日來当地学生ハ頻リニ「ストライキ」ヲ実行計画中ナリシモ官憲ノ取締嚴重ナリシ為メ未ダ決行ノ運ニ至ラザリシ処四月二十八日夜北京ヨリ学生十数名來津極力勸誘運動ノ結果遂ニ二十九日ニ至リ北洋大学、南開學校及官立中学ノ三校ヲ除ク外各學校全部「ストライキ」ヲ決行スルニ至レリ

六九七 四月三十日 向西青島守備軍參謀長ヨリ
福田參謀次長宛(電報)

上海天津方面ノ学生風潮惡化ニ伴ヒ濟南ノ排日再燃ノ模様ニ付報告ノ件

次官同文 (五月三日外務省写接受)

青電第一九号

濟南ニ於テハ排日風潮一時下火トナリツツアリシモ上海天津方面ノ学生風潮ノ悪化ニ伴ヒ最近頓ニ悪化シ排日風潮再燃シ来レル模様ナリ即チ四月二十七日ニハ各界代表会ヲ省議會ニ開催シ左記各項ヲ決議シ翌二十八日ニハ交渉会ニ各商店代表ヲ召集シ決議事項ヲ通告シ政府ノ回答如何ニ依リテハ直ニ罷税ヲ行フヘキコトヲ慫慂シ又濟南学会ニ於テハ決議ノ上五月四日五月七日ニハ半旗ヲ掲ケ歌舞音楽ヲ停止シ一般ノ休業ヲ学会ニ提議セリト

一、政府ニ向ケ山東問題ヲ國際聯盟ニ提出スルコト、日本ノ通牒ヲ拒絶スルコト、日支軍事協定ヲ取消スコト等ヲ要求スルコト

二、右ニ對シ若シ五日以内ニ完全ナル回答ナキ時ハ直ニ罷税ヲ行フコト
各地スミ

六九八 五月四日 在南京岩村領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

南京地方学生ノ排日運動ニ関シ報告ノ件

第一六号

南京ノ各学生ハ四月十五日ヨリ同盟休校ヲ継続シ未ダ登校

罷課中ノ学生ハ毎日市内外ニテ演説等ヲナシタルモ氣勢揚ラズ一週間ヲ經過シタルガ四月二十八日再ビ太古碼頭ニ於テ英國工部局巡捕ト苦力間ニ騷擾アリ英艦ヨリ機関銃ヲ陸上シ租界内ハ今猶英艦兵ニテ警護中ナル処五月一日労働記念会挙行等ニテ学生苦力共ハ騷擾シ居タルニ今五月四日ハ國恥記念当日ナリトテ学生聯合会ハ商民ニ罷市ヲ強要シ商民又学生ノ要求ヲ容レ早期来支那商店ノ多數ハ戸ヲ閉セリ店頭ニハ國恥ヲ忘ルル勿レ五月四日ヲ忘ルル勿レ等ト大書シタル旗旗ヲ掲ゲ敵愾ノ意ヲ示シ居レドモ本邦人ニ對スル態度ハ別ニ險惡ノ兆ナシ右ハ上海方面ヨリノ宣伝ニ基ケリ在支公使ヘ転電セリ

七〇〇 五月五日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

常徳本邦商ノ排日暴徒ニヨル被害賠償方ニ関シ外交
部ニ申入ノ件

附屬書 五月四日附小幡公使ヨリ陳外交總長代理宛書翰第一〇〇号写

公第一二九号

(五月十二日接受)

大正九年五月五日

一一 中国ノ日貨排斥運動ニ関スル件 七〇〇

セズ毎日路上演説又ハ示威行列ヲ行ヒ檄文ヲ撒布シ日貨ヲ検査シ居レリ支那当局ハ学生ノ登校ヲ勧誘シ又取締居レルモ巡警トノ衝突ヲ恐レ断然タル処置ヲ為サズ金陵大学ハ教場ニ出席セザル学生ハ校内ニ止マルヲ許サザル旨布告シタルニ七百余名ノ学生ハ同校ヲ去リ一部ハ郷里ニ歸リ一部ハ市中ニ残り他ノ学生ノ運動ニ加ハリ居レルモ一般ニ激烈ナル行動無ク差当リ騷擾ヲ起ス事無カルベシ江蘇省内各学校モ南京ト同様ノ情態ナルガ如シ安徽省安慶ニテハ先月来各種ノ運動行ハレ商人ト学生ト争鬭シテ負傷者ヲ生ジ蕪湖ニテモ数日前学生ガ商務会ニ闖入シ器物ヲ破壊シ會長其ノ他ヲ負傷セシメタル事件アリテ一時ハ兵士巡警出動シ警戒セル趣ナリ

在支公使ヘ電報セリ

上海ヘ郵送セリ

六九九 五月四日 在九江相原領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

九江地方学生苦力商民ノ排日運動ニ関スル件

第七号

往電第六号ニ関シ

在支那

特命全權公使 小幡西吉(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿
湖南省常德ニ於ケル本邦商カ昨年五月排日暴徒ノ為損害ヲ受ケタル件ニ関シ別紙写ノ通リ外交部ニ照会致置候間右様御承知相成度此段及報告候也
本信写送付先 在長沙池永領事代理

(附屬書)

五月四日附小幡公使ヨリ陳外交總長代理宛書翰第一〇〇号写

第一〇〇号

以書翰致啓上候陳者昨年五月二十六日湖南省常德ニ於テ三個所ノ日本商店カ排日暴徒ノ為襲撃掠奪ヲ受ケタル件ニ関シテハ在長沙敝國領事ヨリ湖南省地方官ニ對シ損害ノ賠償方要求中ナリシ処今般長沙領事ノ報告ニヨレハ湖南地方官ハ常德カ開港地ニ非サル故ヲ以テ賠償要求ノ交渉ニ応セス当方ノ申出ヲ拒絶シ却テ常德在住本邦人ノ引上ケヲ要求シ来リタル趣ニ有之候查スルニ常德ハ光緒三十一年八月六日奏准ノ自開港地ニシテ本邦商及外國商人ハ已ニ多年同地ニ於テ店舗並工場ヲ所有シ相當資金ヲ投シテ正當ナル營業ニ

從事シ居ルモノニ有之貴国地方官カ今般遽カニ其撤退ヲ要求シ来リタルハ甚タ了解ニ苦ム所ニシテ何等誤解ニ基クモノト存候間貴部ヨリ可然御説明ノ上右要求ヲ撤回シ外商保護ノ責ヲ果ス様嚴重御訓令相成度候將又昨年五月二十六日ニ於ケル日本商被害事件ノ性質及其顛末ハ別紙顛末書ノ通りニ有之排日風潮ニ驅ラレタル多数暴徒カ白昼公然数時間ニ亘リ敝国人ノ商店ヲ襲撃シ店舗ヲ毀テ商品ヲ破壊掠奪シタルニ對シ地方警察官ハ之ヲ未発ニ防ク能ハス又事件發生ノ後モ傍觀シテ何等弾圧ノ手段ヲ取ラス一名ノ犯人ヲモ檢挙スル能ハサリシハ重大ナル失態ニシテ之ニヨリ蒙リタル敝国人ノ損害ハ外商保護ノ責ヲ有スル地方官ニ於テ負担ス可キハ当然ノ儀ニ有之事件後常德地方官ハ長沙領事派遣員ト共ニ其損害額ヲ査定シ賠償仕払ノ協議略ホ成立シ草案迄出来タルニ拘ハラス上司ノ命ニヨリ急ニ其態度ヲ變シテ責任ヲ回避セントシ遂ニ交渉ヲ長沙ニ移シタル処長沙特派交渉員ハ遷延数ヶ月ノ後遂ニ常德ハ不開港地ナリト称シ其責任ヲ否認セントセル次第第二有之斯ノ如キ口実ヲ以テ其責任ヲ回避セントスルハ甚タ理由ナキハ勿論外國人ノ生命財産ニ對スル保護ノ義務ハ開港地タルト否トヲ問ハサルハ条約

ノ明定スル所ニ係ルコトハ十分御承悉ノ通りナルニ付テハ至急本件解決方御取計相成度此段照会得貴意候 敬具

大正九年五月四日

日本帝國特命全權公使

小幡 西吉

支那共和國外交總長代理 陳 錄 殿

(別 紙)

写

顛 末 書

昨年春青嶋問題ノ為常德ニ於ケル排日運動ハ漸次熾烈トナリ日本人ニ對スル地方民ノ態度危險ヲ加ヘタルニ不拘常德官憲ハ何等取締ヲナサス兵士ハ公然排日風潮ヲ鼓吹シ排貨運動ノ主動者タル觀アリシ為地方学生及無賴漢ハ益々横暴ノ態度ニ出テ五月廿六日ノ如キ街上ヲ通行スル日本人ニ對シ嘲罵ヲ加ヘ甚シキハ痰ヲ吐キ掛クル等ノ侮辱ヲ敢テシタルモノアリシモ日本人ハ隱忍謹慎ノ態度ヲ取り居リシ処同日夜八時頃多数暴民ハ新隆洋行ノ前ニ集リ暫時惡罵嘲弄ヲ加ヘ居リシカ遂ニ店内ニ侵入シ建具、造作、商品等店内有ラユル物品ヲ破壊シ掠奪ヲナシ狂暴ヲ恣ニセルモ近傍ニ在リシ警察兵ハ傍觀シテ何等阻止セス暴民ハ悠々トシテ同処

ヲ引揚ケ次キニ丸三洋行ニ押寄セ門戸ヲ打破リテ店内ニ侵入シ前同様ノ暴行破壊ヲナシ破壊ス可キ物品無キニ至リテ引揚ケ更ニ弘裕洋行ニ殺到シ是又前同様ノ暴行破壊ヲ遂ケ引揚ケタリ此間数時間ニ亘リ地方官憲ハ之ヲ知ラサル理ナキニ不拘何等日本人保護ノ措置ヲ取ラス漸ク警察兵ノ派出サレタル時ハ既ニ暴行カ完全ニ了リタル後ニテ尚数名ノ暴民ハ残り居リタルニ不拘一名ノ檢挙ヲモ為サスシテ看過シタリ其翌朝九時頃暴民ハ再び三菱洋行出張所ヲ襲ヒタルモ此時ハ警察兵早く駆ケ付ケタル為門口垣根ヲ少シ破壊シタルノミニテ幸ニ大事ニ至ラスシテ止ミタリ右暴行ノ起因トシテ常德地方官ノ弁明スル所ニヨレハ同日講演会アリシニ日本人来リ「斯ル講演ナト聴キシトテ何等益ナシ聞ク勿レ」ト云ヒタルヲ以テ群衆激昂シタルニヨルト言フモ同地本邦人ハ数日来排日風潮ヲ警戒シ居リシ際故講演会ニ赴キタルモノ一人モ無ク又丸三洋行店員群衆ニ對シ惡口ヲ云ヒタルニヨリ衝突ヲ起セリト云フモ是亦丸三洋行ハ新隆洋行ニテ暴行シタル暴徒ノ勢ニ乗シ押寄せ行キタル前後ノ事情ヨリ考フルニ惡口云々ハ全ク事実無根ナル事明ナリ

常德県知事、警察厅长等ハ暴行当時及其夜ハ何等警戒ヲ加

ヘサリシカ長沙敝国領事館ヨリ館員派遣サルルトノ報ヲ得ルト同時ニ慌タシク兵士数十名大工数名ヲ伴ヒ被害洋行ニ来リ行主ノ領事館員来着迄待ツ様要求セルニ不拘強制的ニ昼夜兼行破壊品ヲ取片付ケ破壊ノ箇処ヲ修繕シタルヲ以テ領事館派遣員到着ノ際ニハ被害原状ヲ見ル能ハス調査ニ多大ノ困難ヲ感シタリ

領事館派遣員ハ常德ニ到着後知事及警察厅长ト共ニ被害商店ノ損害ニ付調査ニ着手シタルモ其破損ノ状態甚敷一々物品ヲ照合スル事困難ヲ感シタルヲ以テ知事及警察厅长ヨリ他ノ便法ヲ以テ解決シ度旨申込アリシニヨリ被害商店ノ帳簿其他ノ証拠ニヨリ破壊商品及紛失品ノ見積ヲナシ其額ヲ左ノ通り定メタリ

一、丸三洋行

破損商品見積額 貳千五百元

紛失品 五百元

計 光洋參千元

一、新隆洋行

破損商品見積額 六百元

紛失品 四百元

計 光洋壹千元

一、弘裕洋行

破損商品見積額

式千元

紛失品

式百元

計 光洋貳千貳百元

以上合計六千貳百元トナリタル所知事側ヨリ尚減額方要求アリ種々商議ノ末丸三洋行式百五拾元、新隆洋行、弘裕洋行各百元ヲ減スル事トナシ尚破壊什器ノ内知事側ニテ購買或ハ修繕スル能ハサルモノヲ見積リ右額ヲ加ヘ其結果丸三洋行損害額三千百〇式元、新隆洋行壹千七百七十九元弘裕洋行貳千貳百八十六元合計六千五百七拾七元ヲ知事側ニ於テ承認シ別紙契約書ヲ知事、警察庁長ニ於テ起草シ双方之ニ調印スル迄ニ話進行シタリ

各商店休業ニヨル損害賠償ハ知事ニ於テ認メタルモ知事カ至急本件ヲ解決セントスル誠意ヲ認メ日本側ヨリ之ヲ讓歩シタリ（其後知事トノ協議不調トナリシヨリ長沙領事ハ再ヒ之ヲ復活要求セリ其合計額ハ六百七十五元ナリ）領事館派遣員ハ右ノ趣長沙領事ニ電報シタルヲ以テ同領事ハ更ニ領事館警察署長ヲ常德ニ出張サセ同地ニテ本件ヲ全然解決

ニ於テ長沙帝國領事ハ大ニ交渉員ノ態度ヲ遺憾トシ詳細ノ事情ヲ北京帝國公使ニ稟報シ其取ル可キ措置ニ付請訓シ来レリ

（契約書ヲ添付省略ス）

七〇一 五月六日

在九江相原領事ヨリ
内田外務大臣宛

江西省南昌九江ノ学生排日運動再燃及緩和ニ関シ具報ノ件

往信第五〇号

（五月十九日接受）

大正九年五月六日

在九江

領事 相原庫五郎（印）

外務大臣子爵 内田康哉殿

江西学潮ハ三、四月来一時沈静ニ歸シタルモ日貨ノ陸続輸入セラルルニ伴ヒ復々学生ヲ刺戟スルニ至リ終ニ四月十九日南昌ニ於テ支那商元茂星、瑞康、両店輸入日貨（洋傘及金粉）ヲ査獲シテ四月二十日之ヲ焚燬シタルヲ手始メニ裕生昌、東悅来両店輸入日貨（日本製面盆）モ亦其ノ厄ニ遭ヒテヨリ爾来南昌洋貨組合ニ於テハ大恐慌ヲ来タシ已ニ上

一一 中国ノ日貨排斥運動ニ関スル件 七〇一

セシムル事トシ同警察署長ハ常德ニ到着シ文書ニ調印セントシタル処其時常德知事ハ長沙ヨリ電報ノ命令ヲ受ケタル如ク急ニ其態度ヲ変シ長沙交渉署ヨリ派員来ル旨ニ付其来着ヲ俟テ調印シ度シトテ数日ヲ遷延シ尚調印ヲ回避セルニ付領事館派遣員等ハ知事ニ於テ交渉ノ誠意無キモノト認メ長沙ニ帰還シタリ其後長沙領事ハ湖南特派交渉員ニ対シ交渉セル処交渉員ハ何等便法ヲ考ヘ本件解決ニ尽力ス可キ旨口頭ニテ挨拶シタルカ其後長沙敝國領事更迭シ新領事来任後八月二十六日ニ至リ交渉員ハ文書ヲ以テ常德警察ノ怠慢及暴徒商品破壊掠奪ノ事実ヲ否認シ当方ノ要求ヲ拒絕セル回答ヲ送附シ来リシニヨリ長沙領事ハ九月二十三日附公文ヲ以テ再ヒ之ヲ弁駁セル処交渉員ハ十月一日附回答ヲ以テ常德ハ通商口岸ニ非ス日商ノ私カニ往キテ營業セルモノニ對シテハ中国官憲ハ条約上何等責任ナシトテ当方要求ヲ拒絕シ来リタリ帝國領事ハ更ニ本年二月六日附公文ヲ以テ交渉員主張ノ非理ヲ指摘シ反省ヲ促シタルニ交渉員ハ二月九日附文書ヲ以テ前同様常德ノ開港場ニ非サル故ヲ以テ損害賠償ノ責任無キ事ヲ繰返シ却テ多年同地ニ店舗ヲ構ヘ正当ノ營業ニ従事セル多數本邦人ノ撤退方ヲ要求シ来リタリ茲

海ヨリ積出サレテ恰モ運搬ノ途中ニ在リ又ハ九江ニ陸揚セラレテ倉庫ニ藏メラレ居ル日貨ニシテ南昌著後若シ学生聯合会ノ為メニ掠奪焼棄セララルルニ於テハ其損害頗ル莫大ニシテ彼等商民ニ取リテハ実ニ死活ニ関スル問題ナルヲ以テ之カ善後策ニ付キ密議スル所アリ其ノ結果先ツ督軍省長ニ對シテ保護ヲ請願シ又商務總會ニ對シテハ学生力商人ノ營業ニ對シ干涉スル如キハ甚タ不都合ナル次第ナルヲ以テ軍民兩長ニ對シ嚴重取締方ノ伝達ヲ要求シタルモ商會ハ本ヨリ軍民兩長モ亦学生聯合会ノ反抗ヲ怖レ單ニ一片ノ弥縫的言辭ヲ以テ彼等商民ヲ慰撫シタルノミニテ切実ナル取締ヲ講セサル為メ学生聯合会ハ益々増長シ學業ヲ棄テテ日貨査獲ニ熱狂シ居ルヲ以テ其ノ迫害ヲ惧レ商民ハ目下日貨ノ南昌運搬ヲ停止シ専ラ風潮ノ緩和ヲ待チ居ルモノノ如シ現ニ九江ニ渋滞セル之等日貨ノ量ハ約十萬両ニ上ルト称セラレ漸ク取引ノ開始ヲ見タル日貨ハ叙上ノ如キ事情ノ下ニ復々輸入ノ頓挫ヲ来タスニ至リ唯九江ニ於テノミ商會ノ決議ニヨリ日貨ノ自由販売行ハレ居レリ

如斯南昌学生聯合会ニ於テハ日貨焼棄ニ熱狂セル時ニ當リ九江学生聯合会ハ四月二十六日ヨリ上海ノ学生聯合会全国

一一 中国ノ日貨排斥運動ニ関スル件 七〇二

罷課ノ例ニ倣ヒ罷課ヲ決行スルニ至リ南昌學生聯合会ニ対シテモ同一ノ行動ヲ採ランコトヲ慫慂シタルヲ以テ南昌學生聯合会ハ四月二十七日各校代表會議ヲ開キ討論ノ結果四月二十八日ヨリ罷課ヲ決行スルコトナリ南昌學生聯合会二十三校四千余人ノ男女學生ハ同日ヨリ罷課ヲ開始スルニ至レリ如叙上江西ニ於ケル學潮ハ南昌ニ於テ日貨ヲ燒棄シタルニ発端シ次テ九江南昌ニ於ケル學生ノ罷課トナリ更ニ九江學生ハ五月一日万国労働紀念会ノ祝賀ヲ名トシテ工学聯合会ヲ催ス等（五月三日附在信 第四九号参照）學業ヲ棄テ愛國ヲ名トシ日本ニ対スル反抗ヲ策セルモ其實ハ政治運動若クハ社会労働問題ニ關係シ国内ノ治安ヲ危カラシメントスル傾向顯著トナリ大ニ地方官憲ノ注意ヲ促スニ至レリ

当地支那地方官憲カ右等學生風潮ニ対スル態度ヲ觀ルニ例ニ依リ不徹底のニシテ其ノ当初ニ當リ切実ナル取締方法ヲ設ケサリシ為メ益々取締ノ困難ヲ見ルニ至リタルモノノ如ク臧省長ハ四月廿四日附訓令ヲ以テ別紙寫ノ通り學生ノ檢貨ヲ嚴密ニ制止スヘキヲ所屬官憲ニ訓令シタルモ其ノ機ヲ逸シタルト實際學生取締ノ実力並ニ誠意ヲ欠ケルトニ基因シ未タ全ク學生ノ不正行動ヲ彈圧スル能ハサルモノノ如シ

學生聯合会各界聯合会等ノ本部ハ五月六日仏租界警察ヨリ閉鎖立退ヲ命ゼラレタリ

北京へ転電ス

七〇三 五月七日

在福州鈴木總領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

福州學生ノ排日運動取締ニ付外交部ニ交渉方小幡公使ニ稟請シタル件

第三七号

在支公使宛第三二号

当地學生又々一齊ニ同盟休校シ国恥忘ルル勿レト大書セル大旗ヲ立テ市中ヲ練リ行キ各商店ニ向ッテ閉店ヲ迫リ之ニ応ゼザルモノアル時ハ其店ニ侵入シ商品家具等ヲ破壊シツツアリシモ官憲ハ何等ノ取締ヲ加ヘズ本官ハ之ニ対シ抗議中ナルモ李厚基從來ノ態度ニ鑑ミ暴行學生逮捕ノ如キハ到底望ナキニ付外交部ニ嚴重交渉ノ上電訓ヲ發セシメラレタク尚徐樹錚ヲシテ李厚基ニ対シ學生等取締ノ電報ヲ發セシムルヲ得バ極メテ有効ナル可シト思料セラルルニ付右御取計相成度シ

外務大臣へ電報セリ

一一 中国ノ日貨排斥運動ニ関スル件 七〇三 七〇四

八二二

但九江ニ於ケル地方官憲ハ今次學生風潮ニ対シテハ最初ヨリ充分ニ取締ヲ勵行シ同時ニ商民ニ対シ保護ヲ加ヘタルヲ以テ南昌ニ於ケルカ如キ事態ヲ惹起スルニ至ラザリキ本官ハ今次學生運動ノ再燃ニ対シテ寧ロ冷静ヲ持シ少シク忍耐自重セハ不遠シテ平穩ニ歸スヘキモノト認メ在留本邦商民ニ対シテハ努メテ支那人ノ感情ヲ刺戟スルコトヲ避クル様注意セシメ支那地方官憲ノ態度ヲ監視シ形勢ヲ傍觀致居候処最近上海ヲ首トシ各地ノ風潮著シク緩和シ来タルト当地方官憲ノ態度モ稍々強硬トナリタルトニ依リ這般ノ學生運動モ大ニ緩和セラレタルヲ以テ遠カラス罷課學生ノ上課ヲ見ルニ至ル可ク同時ニ該風潮モ終熄スルニ至ルヘキモノト思料致候

右及具報候 敬具

写送先 在支公使

註 別紙ヲ省略ス

七〇二 五月七日

在上海山崎總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

學生連合会各界連合会等ノ本部閉鎖立退ノ件

第一〇三号

七〇四 五月十日

在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

華府ニ於テ中国国民党員主催ノ国恥記念日五週年會合ノ狀況及前在中國公使ラインシュノ演說ニ付報告ノ件

第二三八号

支那国民党員主催ノ下ニ八日当市ニ於テ国恥記念五週年開催セラレ支那人商店料理店ハ悉ク午後三時迄店ヲ閉シ国旗ヲ掲揚シ一劇場ニ集會シタルガ參會者支那人約七百人約百名ニシテ前駐支公使「ラインシ」並ニ二三支那人側ノ演說アリ昨年ノ日貨排斥運動當時ニ於ケル上海ノ光景等ヲ活動写真ニテ示シタル位ニシテ何等過激ナル言說ナク又特ニ排日ニ關スル決議等ハナカリシモノノ如シ「ラインシ」ハ日本ノ二十一ヶ条ノ要求ハ「humbly」ナリ今日支那ガ外国ニ求ムル所ハ外国ガ此ノ上蠶食の行動ニ出デザルコトナリト述べ昨年北京ニ起レル學生及商人ノ排日運動が全国ニ波及シテ國家ノ發展上極メテ有要ナル兩階級ノ協同團結ヲ見ルニ至リタルハ日本ノ圧迫ガ齎シタル間接ノ結果ナリト述べ尚支那人ノ素質ノ優秀ニシテ國富無限ナルコト等ニ言及

八二三

シ支那ハ将来其ノ教育制度ヲ改善シ其ノ利源ヲ開発シ強固ナル中央政府ニ統一セラルルニ至ラバ總テハ世界強國ノ班ニ列スルニ至ル可シト述ベタリ

七〇五 五月十三日

在漢口瀨川總領事ヨリ
内田外務大臣宛

国恥記念ノ五七日ヲ高潮期トセル学生示威運動十日
閉幕ノ件

政公信第一八七号

(五月二十日接受)

大正九年五月十二日

在漢口

總領事 瀨川淺之進 (印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

武漢学生動靜近状報告ノ件

本月七日武昌文華大学ノ学生ニ対シ解散帰郷ヲ命シテヨリ他校モ亦之ニ倣フアリ市中ハ戒嚴令ヲ布カレ学校監督側ハ俄カニ強硬ナル態度ニ出テ為メニ学生ハ校ノ内外ニ集合ノ自由ヲ失ヒ大イニ苦痛ヲ感シタルモノノ如ク加フルニ上海ヨリハ同地ニ在ル全国学生總會ハ仏國領事ニ迫ラレ終ニ封鎖ノ悲運ニ陥リタリトノ報ニ接シ愈々其聯絡一致ノ運動ニ

部ニ申入ニ対シ同部ヨリ回答越ノ件

附屬書

六月十日付小幡公使ヨリ在長沙池永領事代理宛公第五号写

公第一七五号

(六月十六日接受)

大正九年六月十日

在支那

特命全權公使 小幡西吉 (印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

大正九年六月十日附在長沙池永領事代理宛公第五号写送付

日清汽船積荷引渡ニ関シ排日団妨碍ノ件

(附屬書)

小幡公使ヨリ在長沙池永領事代理宛公第五号写

大正九年六月十日

在支那

特命全權公使 小幡西吉

在長沙

領事代理 池永林一殿

日清汽船積荷引渡ニ関シ排日団妨碍ノ件

日清汽船会社汽船カ其積荷ヲ荷主ニ引渡サントスルニ対シ排日団カ妨碍ヲナセル件ニ関シ四月二十八日貴電第十七号

一一 中国ノ日貨排斥運動ニ関スル件 七〇七

不便ヲ覺エ省議長等カ調停ノ勞ヲ取リタルヲ幸トシテ去ル十日(月曜日)ヨリ一同登校スルニ至リ五七日ヲ高潮期トセル学生示威運動ハ茲ニ閉幕ヲ告ケタル次第ニ候
右報告申進候也

本信写送付先 在支公使在天津總領事在上海總領事

七〇六 五月十七日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

同盟休校ノ北京学生全部登校ニ決定ノ件

第四三七号

同盟休校ノ北京学生ハ一ノ宣言書ヲ發表シ爾來互助的精神ヲ以テ學術ノ發達ト社会的改造ヲ図ルヘク又山東問題ハ政府既ニ直接交渉ヲ為サストノ表示アルモ若シ不信ノ行為アラハ全国ノ公敵トスヘシト云ヒ五月十七日ヨリ全部登校スルコトナレリ上海学生聯合會解散等ノ影響ニモ依ルモノト認メラル
上海ヘ転電セリ

七〇七 六月十日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

長沙排日団ノ日清汽船積荷引渡妨碍ニ付取締方外交

ヲ以テ御申越ノ趣ニヨリ五月四日公文ヲ以テ外交部ニ嚴重取締命令方申入置候処今般外交部ヨリ別紙写ノ通り湖南省長ハ省會警察庁ニ查明弁理方命令シタル趣回答致来リ候
右及通報候也
本信写送付先 内田外務大臣

註 池永領事代理宛小幡公使宛第十七号ニ付テハ同官四月二十七日發外務大臣宛第十六号参照

(別紙)

六月七日附外交總長代理ヨリ小幡公使宛回答写

照会使字第一九号

外交次長代理部務陳

為

照復事湖南長沙地方阻止日清汽船公司不能交貨一事准五月四日

來照備悉一切当經本部轉行湖南兼省長及特派交涉員查明辦理去後現據該特派員呈復以妨阻日清汽船公司交貨一節前准日領來函已經呈奉省長令行省會警察庁查明辦理請復日使等情相応照請

貴公使查照可也須至照會者

右 照 會

大日本国欽命駐華全權公使小幡

中華民國九年六月七日

七〇八 六月十八日

中川台湾銀行副頭取ヨリ
田中通商局長宛

西貢地方中国人ノ排日状況ニ付報告ノ件

總外第五八七号 (六月十九日接受)

大正九年六月十八日

株式会社台湾銀行副頭取 中川小十郎

外務省通商局長 田中都吉殿

拝啓益々御清榮奉賀候陳者仏領印度西貢地方ニ於ケル排日
状況ニ関シ今回同地ニ支店ヲ新設セル株式会社華南銀行ヨ
リ別紙ヲ通り情報ニ接シ候間為御參考此段奉供御高覧候
右得貴意申候 敬具

(別紙)(一)(一)

写(一)

西總第一七号 大正九年四月十二日

華南銀行西貢出張員 矢野正雄

林 総 理 殿

正金開業後ノ景況

然ルニ当方ヘ対シテハ予テ得貴意置候通り今回何等「ボー
コット」風評ヲ聞カス且ツ買弁候補者等ニ対シテモ何等強
迫ヲ見ス至極好都合ニ存居候尤モ過日事務所買取資金調達
ノ為メ「シヨロン」市広泰号ノ香港宛電信送金香貨老万弗
当方ニ於テ引受候処彼等ハ広泰号カ華南銀行ト取引セルハ
排日規約ニ反セル旨ヲ以テ処罰方ヲ「シヨロン」商務總會
ニ提議シタルニ会頭ハ個人的意見トシテ華南銀行ハ過半数
ノ同胞株主ヲ有シ且ツ同行ノ取扱フ紙幣ハ印度支那銀行ノ
紙幣ナルヲ以テ日貨ニ非スト答ヘ且ツ若シ諸君ニシテ強ヒ
テ排日聯合会ヲ召集スルノ要アラハ願書ヲ提出スヘシ但シ
願書ノ受理如何ハ会頭ノ權限ニ属スル旨回答セル由ニテ其
後更ニ前記広泰号ヨリ再ヒ老万五千弗送金申込アリタル点
ヨリ推察スルニ同伴ハ其儘解決ヲ見タル事ト被存候尚当店
開業後ニ於ケル態度ニツキニ、三有力支那人ノ意見ヲ徴シ
タルニ当初支那人ニ対シテハ積極的ニ業務ノ涉獵ヲ見合セ
可成申込ヲ待ツテ取引ヲ為スノ方針ニ依リ暫ク時機見送ル
方得策ナル可シトノ事ニテ御參考迄ニ申添候
右御報告旁々得貴意候也

写

同店ハ四月六日開業相成候然ルニ当地排日氣勢ハ下層階級
間ニ未タ全ク終熄セス從ツテ有識者モ亦彼等ノ強迫ヲ懼レ
余儀ナク今尚之ニ共鳴セルモノ多ク殊ニ同行ハ準備着手以
来排日一派ノ焦点トナレルカ為メ開業当日不穩ノ伝單配布
セラレ且ツ店前排日密偵ノ写真器ヲ携帯シ同行出入華商ノ
撮影監視ヲ企テタル為メ当日百余ノ招待状ヲ発送シタルニ
不拘唯タ僅カニ三井其他ノ買弁連中四名及外人四、五名ノ
来店アリタルノミニ過キス尚同店祝物ノ如キ華商及外人
ヨリハ一物タニ無カリシ由ニ候而モ其後尚引続キ毎日店前
排日密偵見張り番ヲナセル為メ殆ント開業以來華商ノ出入
スルモノナク店前雀羅ヲ張ルノ光景ヲ呈シ自然取引皆無ノ
有様ニ候尚一方同店買弁ニ対スル強迫益々甚タシク依ツテ
清水氏ハ日本名譽領事ヲ介シ總督ニ対シ買弁外支那人使用
人二名ノ為メ短銃携帯許可並ニ排日取締方願出ラレタル旨
御話有之候間小役意見トシテ右様善後策ヲ若シ排日派ニ探
聞セララルル時ハ益々彼等ノ氣勢ヲ高ムル懼レアルヲ以テ同
意シ難ク自然当店開業ノ上同一影響ヲ見ルハ当方トシテ
ハ暫ク成行ニ任セ形勢觀望漸次鎮靜ノ機ヲ待ツ方針ナル旨
答ヘ置候

(二)

西總第二八号 大正九年五月二日

華南銀行西貢出張員 矢野正雄

林 総 理 殿

当地排日状況ニツキテハ予テ御報告致置候処今尚正金ニ於
テハ華客ノ取引皆無ノ姿ニテ殊ニ同店長ノ直話ニ依レハ新
嘉坡華商ヨリ当地排日聯合会ニ対シ正金經由ノ同地向手形
ハ絶対ニ引受ケサル旨申来レル由ニテ華商ノ取引ヲ除外シ
テハ殆ト何事モ為シ得サル当地同店ノ立場ハ全ク同情ニ堪
ヘサル次第ニ候然ルニ幸ヒ今日迄ノ処当店ニ対シテハ何等
風聞無之候得共其有識者間ニテハ下級労働者及煽動者ノ使喚
ヲ懼レ公然訪問等ヲ今暫ク見合セラレ度旨申越ス向モ有之
且ツ二、三有力者意向トシテモ此際開業披露招待及得意先
勧誘ハ之ヲ受クル者ニ迷惑ヲ及ホス事トナルヘキヲ以テ当
分見合セタル方機宜ノ策ナルヘシトノ事ニテ時態ニ鑑ミ至
極穩當ノ策ト被存候間開業当日ハ一切披露見合セノ事トシ
單ニ有力支那人ニ対シテノミ開業挨拶廻リ及ヒ新聞広告ニ
留メ置ク方針ト致候ニツキ御含置被成下度候

七〇九 七月十九日 在天津船津總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

抑留中ノ排日学生等十余名安直兩派衝突ノ為全部放
免ノ件

第一八一号

曩ニ排日の暴行ヲ逞ウシタル結果抑留中ノ男女学生新聞記者商務總會書記等合計十余名ハ最近恰モ審判庁ニ於テ審理進行中ノ処今回安直兩派愈々衝突シタル為メ前記学生等ハ七月十四日直隸督軍及ビ省長ノ命ニ依リ無条件ニテ全部放免セラレタリ其ノ原因ニ付探究シタル処元來前記学生等ハ排日ノ急先鋒タルト同時ニ盛ニ安福俱樂部及ビ段祺瑞ノ一派ニ對シテモ最モ熱烈ニ反對攻撃シタル連中ナルヲ以テ此ノ際之ヲ放免シ更ニ一層熱烈ニ段派攻撃ノ宣伝ヲナサシメントノ魂胆ニ他ナラズ過日曹錕ガ外交團ニ向ッテ京綏京漢引当テノ借款其他ニ関シ常識アルモノニ容易ニ信ズル能ハザル如キ荒誕無稽ノ捏造說ヲ理由トシテ日本ヲ引合ニ出シ抗議ヲ提出シタルハ各方面ニ於テ今尚排日ノ氣勢存在スルヲ利用シテ大ニ段派排斥ニ油ヲ注ガントノ趣旨ニ他ナラズ本官ハ我方ノ一英字機關新聞ヲ利用シ其ノ誤解ヲ指摘シテ

ガ支那警察ノ助力ヲ借りタル際支那巡警ノ一人ガ前記籍民ト徒党セル一支那惡漢ノ為メ射殺セラレタル事件アリシニ對シ各新聞共ニ是レ籍民ノ兇行ナリト曲筆シ日本籍民ノ横暴ヲ攻撃シ排日ノ氣勢ニ油ヲ注ガントスル形勢アリ是ニ於テ小官ハ試ミニ當地ニ於ケル最有力ノ新聞ニシテ排日ノ急先鋒タル健報ニ誤謬記事ノ訂正ヲ求メタルニ意外ニモ我弁妄書ヲ最上欄ニ掲ゲタルノミナラズ求是報其他一二ノ有力新聞ハ之ニ比較的善意ノ批評ヲ加ヘ彼等ハ必ズシモ無茶苦茶ニ日本人ヲ攻撃スルモノニアラズトノ態度ヲ示シ処スルニ適當ノ途ヲ以テスレバ當地新聞紙ノ排日論調ヲ緩和スルコト不可能ニアラザルヲ思ハシムルモノアリ又学生ノ排日運動ノ如キモ從來其策源地タルノ感アリシ基督教青年會館ニハ會員中ニ台灣人少ナカラザルヲ以テ目下彼等ヲシテ内

弁明且ツ駁撃ニカメ居レリ

七一〇 十月二日 在福州林總領事ヨリ
内田外務大臣宛

福州地方ニ於ケル最近ノ排日狀況報告ノ件

機密第二九号 (十月十三日接受)

大正九年十月二日

在福州

總領事 林久治郎(印)

外務大臣伯爵 内田康哉殿

昨年来猖獗セル當地ノ排日運動ハ時ニ依リ一張一弛アリシモ去ル八月ニ至リ最高潮シ日本品取扱商ハ生命ノ危險ヲ賭セザルベカラザル如キ狀態(八月十二日附往電第五七号)ヲ現出シテ其極点ニ達シ三井鈴木等ノ大商店出張所ハ勿論小売商ニ至ル迄殆んど全ク顧客ノ跡ヲ絶チ在留邦人ノ困却甚シク當地ヲ引揚グルモノ続出スル有様ニアリタルガ九月十八日小官着任後ハ別段積極的排日運動ヲ見ザルモ各漢字新聞ハ九月下旬筆ヲ揃ヘテ福州事件交渉ノ進捗ニ不満ノ意ヲ表シ飽迄元兇ノ処罰ヲ要求セザルベカラズト論ジ更ニ小官着任ノ前夜不逞ノ籍民ヲ捕縛セントテ当館警察署員

部ヨリ緩和セシムルコトヲ為シ居リ他方督軍及特派交渉員等亦該運動ハ如何ニ努力スルトモ急激ニ終熄セシムルコト難キヲ以テ自分等ハ唯誠心誠意之ガ熄滅ニ努ムベキヲ以テ時日ヲ待タレ度旨ヲ小官ニ語り必ズシモ御座成リノミノ言ニアラザルヲ思ハシメ候

右ノ如キ狀態ニテ當地ノ排日運動ハ既ニ其極ニ達シ居レリト見ルヲ得ベク之ヲ急激ニ熄滅セシムルハ容易ノ業ニアラザルモ處スルニ適當ノ途ヲ以テシ待ツニ相當ノ時日ヲ以テスレバ或程度迄緩和ニ難カラザル様存セラレ候右着任後觀察セル當地最近ノ排日狀況及報告候 敬具
本信写送附先 在支公使台灣總督